

2018年度 学生生活実態調査報告書



岐阜大学
教学委員会

学生生活実態調査報告書の作成にあたって

2018年度岐阜大学学生生活実態調査のアンケート結果をここに報告します。前回の調査は2012年度でしたので、6年ぶりの調査となります。今回の調査においても、10月の履修登録に重ねるとともに、「学務情報システム（Campus-G）」を使用し、スマートフォンやPCからも回答できるようにしました。回収率は前回に比較してかなり低下しましたが、このアンケートに関心のある学生から貴重な意見が寄せられているものと思います。今回の調査で明らかになった主な結果を以下に記します。

- ・学部生の岐阜大学の志望理由としては、国立大学であることが第一に挙げられます。希望する学部・学科の存在も重要で、地元の大学であることが第三の理由になっており、5割の学生が自宅通学であることはこのことを裏付けているようです。
- ・7割の学生がアルバイトをしています。特に生活がたいへん苦しいと答えた学生は1割に留まっています。また、6割がサークルに参加しており、勉学を第一に置いた生活をしている学生は4割にのぼります。
- ・所属学部・学科に対して8割の学生は概ね満足しており、授業に対する満足度についても、満足する授業が多い～やや多いとするものが前回5割から7割近くまで増えました。
- ・予習・復習にかける時間については、2時間以上勉強する割合が前回の1割未滿から3割まで増加し、それに伴って、単位取得状況も大きく改善されている結果となっています。また、シラバスの活用状況がかなり増加しており、学習意欲が高まっていると考えられます。

これらの調査結果には、キャンパスライフを豊かにするための貴重な示唆が含まれていると思われます。教職員の皆様には今後の学生支援への取組みの参考にしていただけるとありがたく思います。

最後になりますが、今回の実態調査にあたって、大変ご多忙の中貴重な時間を割いて担当いただいた学生生活支援部門、特に学生生活実態調査WGの皆様、アンケートに協力いただいた学生諸君、学生情報システムを用いてアンケート調査方法を確立していただいた学生支援課の皆様に、心より感謝の意を表します。

2019年5月

理事（教学・附属学校担当）・副学長
江馬 諭

目次

A. 回収率と学生の所属	1
B. 通学と住居	2
C. 収入と支出	4
D. 学生生活	7
E. 修学状況（学部生）	11
E. 修学状況（院生）	18
F. 課外活動等	26
G. 進路と就職	30
2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果	32

グラフ中の略記の意味は以下の通り

全学：学部生と大学院生を合わせた全ての学生（回答数2446/在籍数7004）

教育：教育学部の学生（回答数447/在籍数1026）

地域：地域科学部の学生（回答数201/在籍数451）

医学：医学部の学生（回答数317/在籍数803）

工学：工学部の学生（回答数480/在籍数2208）

応生：応用生物科学部の学生（回答数501/在籍数893）

院生：大学院博士前期課程と博士後期課程を合わせた全ての院生（回答数500/在籍数1623）

E. 修学状況(院生)においては以下の通り

教育：教育学研究科の院生（回答数30/在籍数134）

地域：地域科学研究科の院生（回答数18/在籍数46）

医学：医学系研究科の院生（回答数29/在籍数173）

工学：工学研究科の院生（回答数28/在籍数108）

自然：自然科学技術研究科の院生（回答数335/在籍数916）

連合：連合農学・連合獣医学・連合創薬医療情報研究科の院生（回答数60/在籍数238）

応用生物科学研究科の8人からの回答数は0

【 】は前回（2012年）の数値。

A 回収率と学生の所属

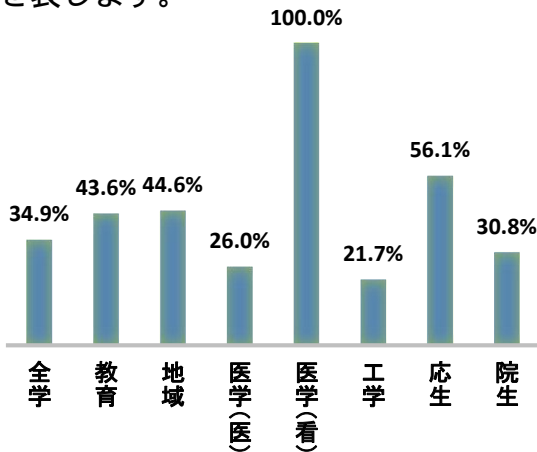
一定の回収率 (Webによる回収を実施)

(1) 回収率

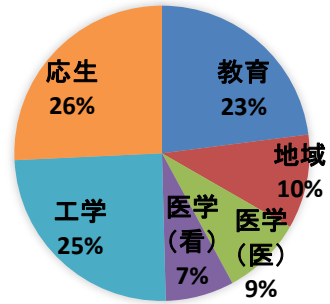
全学の回収率は34.9%、学部の回収率は36.2%、大学院の回収率は30.8%と一定の回収率となりました。

今回の調査は、スマートフォンやパソコンからWebを通して回答できるように配慮しました。

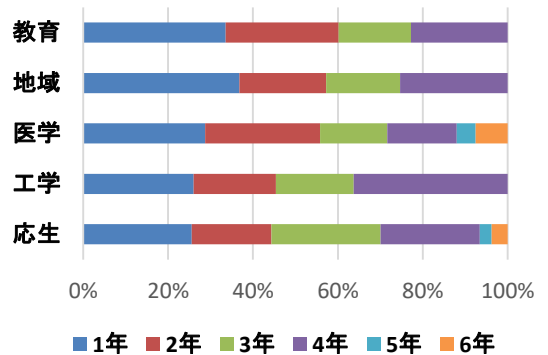
協力いただいた学生諸君に感謝の意を表します。



所属学部



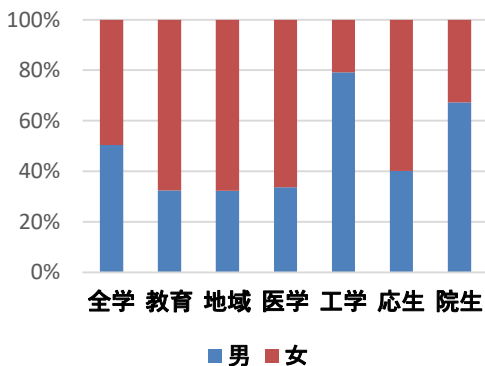
学部生の学年



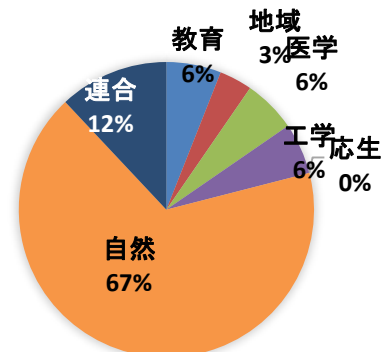
(2) 所属

アンケートに回答した学生の「性別」、「所属学部」、「学部生の学年」、「院生の所属研究科」別の内訳を示す。各項目ともに、母体となる学生数からして、偏りのないデータが得られていると考えられる。

性別



院生の所属研究科



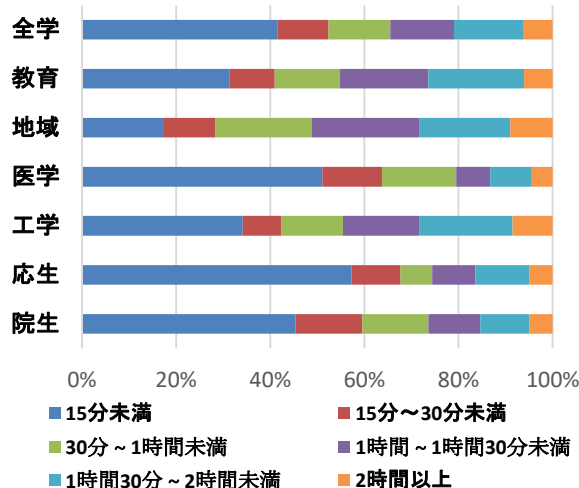
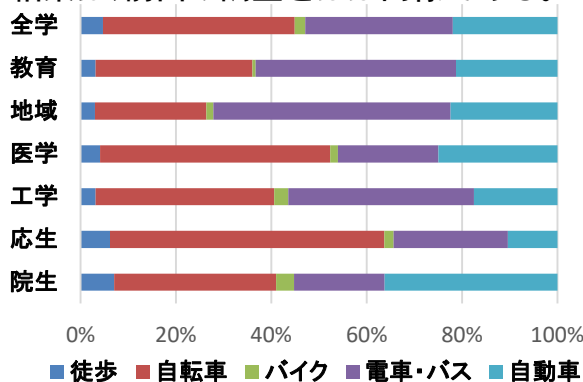
B 通学と住居

5割強の学生が自宅生

(4割が1時間以上の通学時間、中には2時間以上も)

(1) 通学方法

通学方法は全学で「自転車」が40.3%【前回37.5%】、「電車・バス」が30.9%【34.1】であり、これら二つをあわせると7割以上を占める。また、「自動車通学」は21.9%【20.8%】、「徒歩通学」は4.7%【3.6%】、「バイク通学」は2.2%【3.9%】である。この結果は、前回の調査とほぼ同様である。



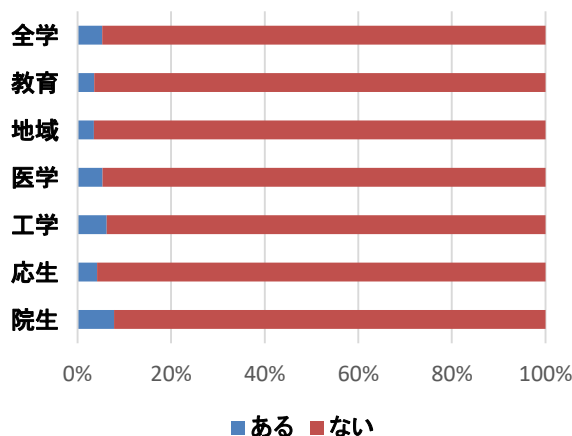
(2) 通学時間

通学時間は全学で41.5%【38.1%】の学生が「15分未満」と答えている。1時間未満までの回答までを含めると6割以上になる。このように、通学時間が極端に長くない学生が過半数を占めてはいるが、「2時間以上」かけて通学する学生も6.1%【6.3%】存在している。

個別で見ると、応用生物科学部と医学部及び院生では約4割以上の学生が「15分未満」の通学時間であり、1時間未満までの回答を含めると6割以上となる。これに対して、教育学部、地域科学部及び工学部では、通学に1時間以上を費やす学部生が4割あり、かなりの割合を占める。通学時間が「15分未満」の学生が多いことは、以下に示す自宅外生が多いことに対応している。逆に、通学時間が長いのは自宅生が多い学部となっている。

(3) 交通事故

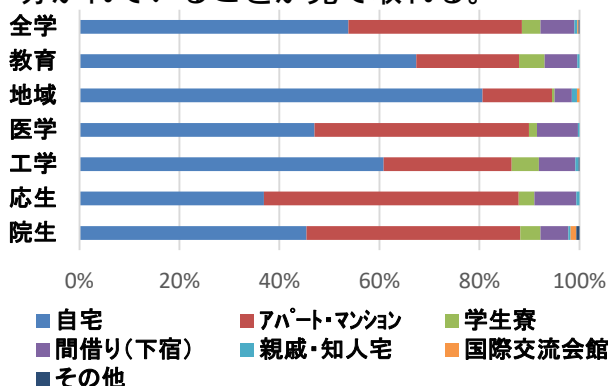
「通学中に交通事故にあった、または、起こしたことがありますか」との問いに対しては、全学の94%【93%】の学生は、ないと回答している。一見すると多くの学生は交通事故とは無縁のように思われる。しかし、あると答えた学生の詳細を見ると、院生の1割弱が交通事故を経験していることに気付かされる。先に見たように、院生の4割弱が自動車通学していることと考えると、自動車利用が交通事故に遭遇する可能性を高めているものと思われる。



(4) 住居

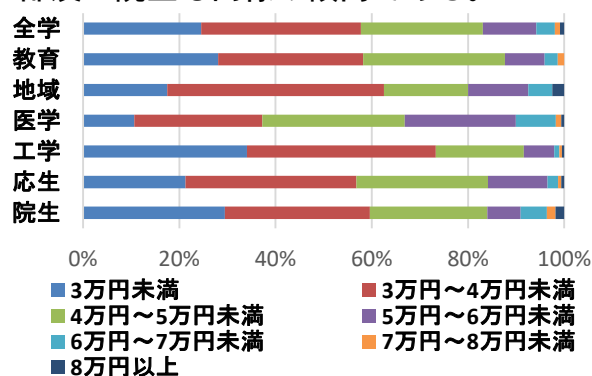
住居は、全学の53.8%【55.6%】の学生が「自宅」と回答している。自宅生が過半数を上回るというのが、本学の顕著な特徴である。自宅に次いで多いのが、「アパート・マンション」で34.7%【33.3%】である。「学生寮」および「間借り(下宿)」は、それぞれ3.7%【3.9】および6.8%【5.5%】とごく少数であった。

個別で見ると、自宅生の割合は、地域科学部が最も高く80.6%【74.9%】、次いで教育学部67.3%【66.5%】、工学部60.8%【59.5%】となり、この傾向は先に見た通学時間の場合と似ている。すなわち、教育、地域、工学のグループと、院生、応生、医学のグループに分かれていることが見て取れる。



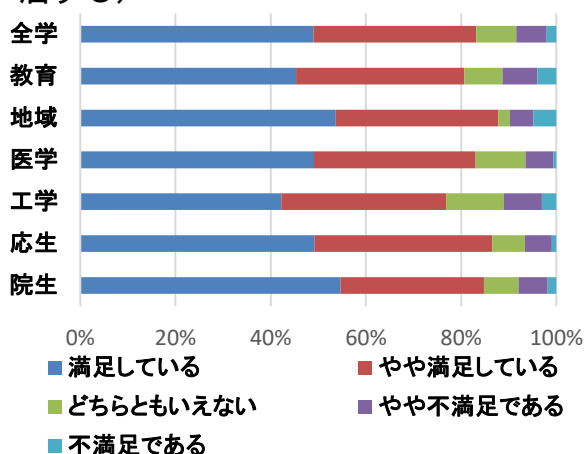
(5) 家賃

住居に関する質問で自宅以外を選んだ学生に対して、さらに「1ヶ月の家賃はいくらですか」と質問したところ、全学の24.6%【24.2%】が「3万円未満」、33.2%【36.1%】が「3万円以上4万円未満」、25.4%【25.6%】が「4万円以上5万円未満」と回答している。5万円までの家賃を払っている学生は8割以上を占める。その中でも過半数の学生が払っている家賃は、「3万円以上5万円未満」の範囲にあり、各学部及び院生も同様の傾向である。



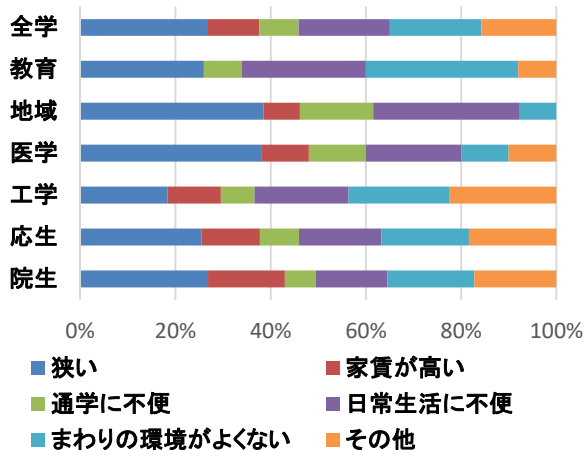
(6) 満足度

住居に関する質問で自宅以外を選んだ学生に対して、さらに「現在の住居に満足していますか」と質問したところ、「満足している」「やや満足している」と回答したものは、全学で83%【79%】を占めた。「どちらともいえない」と回答したもののまで含めると、全学の91%【90%】にのぼる。学生達は、現在の住居にそれなりに満足していることがわかる。自宅以外の学生達は、各自の希望に応じて住居を選択するため、自ずと満足度が高くなると思われる。(つまり、不満足な場合は他へ転居する)



(7) 不満の理由

自宅外住居の満足度について、「やや不満足である」もしくは「不満足である」を選択した学生に対して、その理由を複数回答可で尋ねたところ、3割近い学生が「狭い」こと、約2割の学生が「まわりの環境がよくない」、「日常生活に不便」を挙げている。

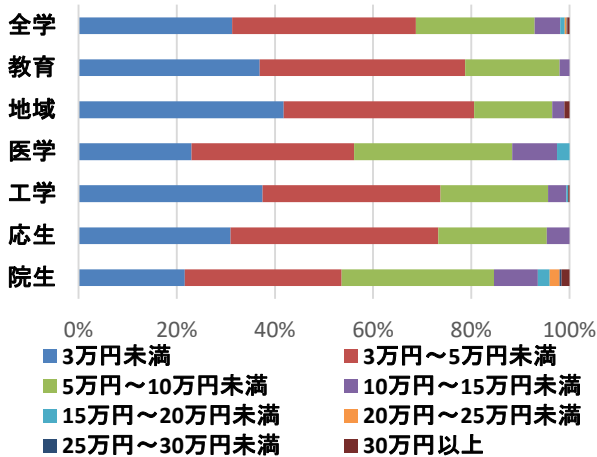


C 収入と支出

学部生の7割がアルバイト
(家庭教師が1位、コンビニが2位)

(1) 1ヶ月の平均必要経費

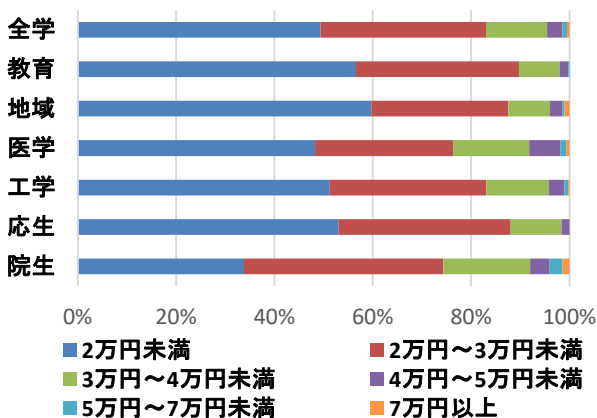
1ヶ月の平均必要経費は、全学で「3～5万円未満」が最も多い。教育学部、地域科学部、工学部、応用生物科学部では次いで「3万円未満」が、医学部、院生では次いで「5～10万円未満」と続いている。



(2) 1ヶ月の平均食費

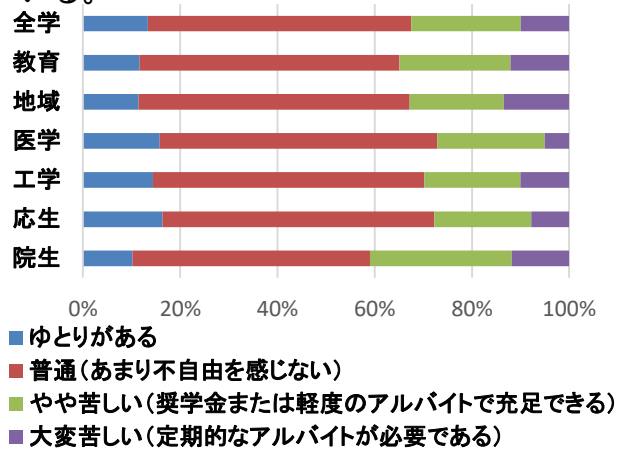
収入のうち、食費にどれだけかけているかをみると、全学部とも「2万円未満」が最も多く、次いで「2～3万円未満」と続いている。一方、院生では「2～3万円未満」が40.6%【39.8%】、次いで「2万円未満」が33.8%【33.8%】と続いている。

前回の調査と同様に全体では「2万円未満」が最も多く、食費を節約している傾向がみられる。



(3) 現在の経済状況

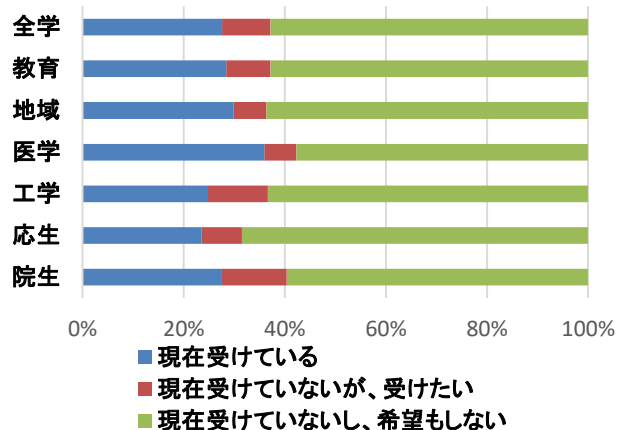
現在の経済状況を全学でみると、「ゆとりがある」、「普通」と回答した学生が6割以上となっている。しかしながら、院生では「やや苦しい」、「大変苦しい」と回答した学生が4割以上おり、大変苦しいと回答している院生は11.8%【13.0%】と1割を超えている。



(4) 奨学金を受けていますか

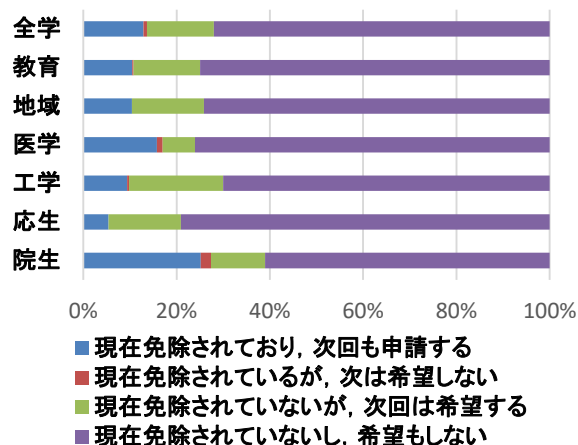
全学で27.6%【33.2%】が現在受けており、「現在受けていないが受けたい」を合わせると37.2%【46.2%】である。奨学金を現在受けている学生を学部別でみると、医学部が36.0%と最も多い。

奨学金を現在受けている学生は、前回の調査と比較して全学で5%程度減少している。



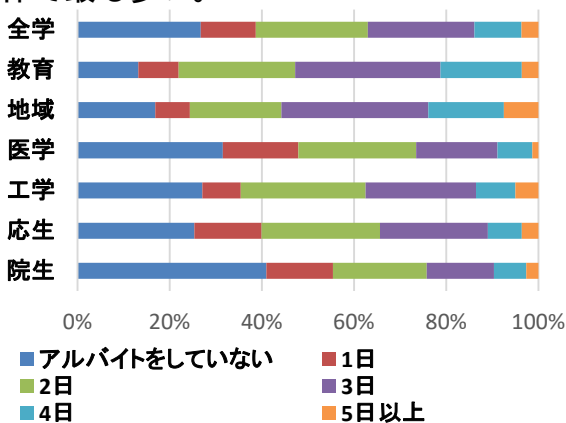
(5) 授業料免除を希望しますか

「現在免除されており次回も申請する」は、全学で12.9%【10.3%】である。学部別でみると、医学部が15.8%と最も多く、応用生物科学部が5.4%と最も少ない。一方、院生は全学の約2倍となる25%である。



(6) アルバイト状況

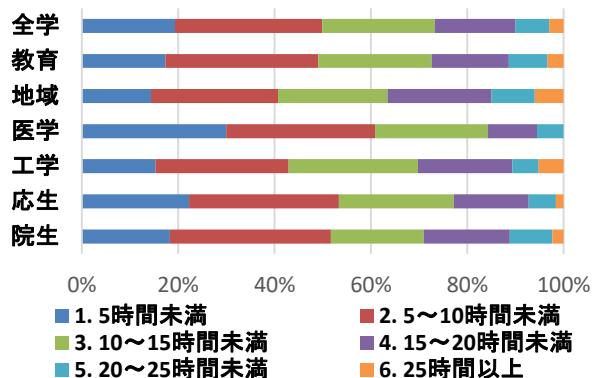
全学で73%【68%】の学生がアルバイトをしており、前回の調査より5%程度増加している。アルバイトの平均従事日数は「週2日」が24.3%と最も多く、次いで「週3日」が23.1%である。学部別でみると、「アルバイトをしていない」学生の割合が最も低いのは教育学部で13.2%である。一方、院生は「アルバイトをしていない」が41.0%と全体で最も多い。



(7) 1週間の従事時間

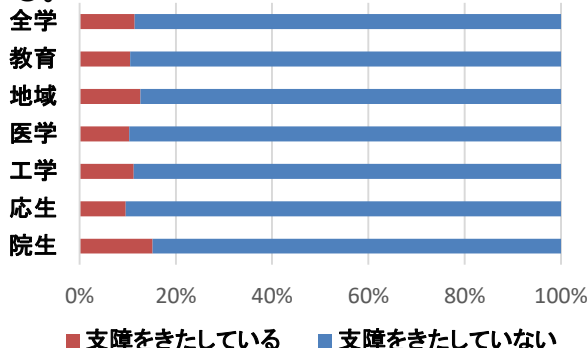
1週間の従事時間で最も多いのは、「5～10時間未満」で、全学で30.5%である。

「10時間以上」の割合が高かったのは地域科学部と工学部で、約60%が10時間以上アルバイトをしている。



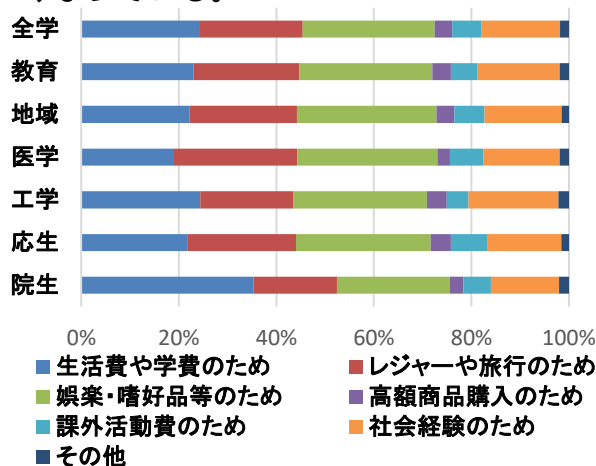
(8) アルバイトによる勉学への支障

アルバイトにより勉学に支障をきたしている学生は、全学で11.4%【13.9%】である。学部では、5学部ともほぼ同じ割合だが、院生は15.2%と多少多い。しかし、あまりアルバイトは勉学の妨げになっていないようである。



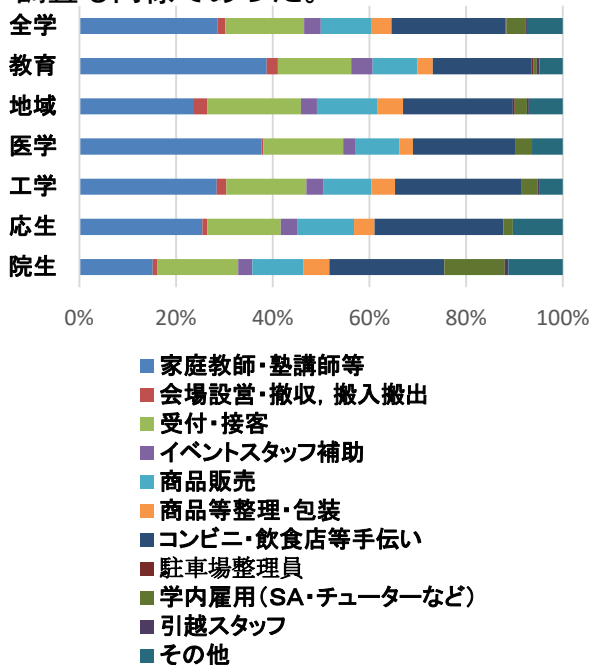
(9) アルバイトの主な目的

学部では「娯楽・嗜好品等のため」が27.8%と最も多く、「生活費や学費のため」が22.3%と続いている。一方院生は、「生活費や学費のため」が35.3%、次いで「娯楽・嗜好品等のため」が23.1%であり、前回の調査と同様に「生活費や学費のため」が最も多くなっている。



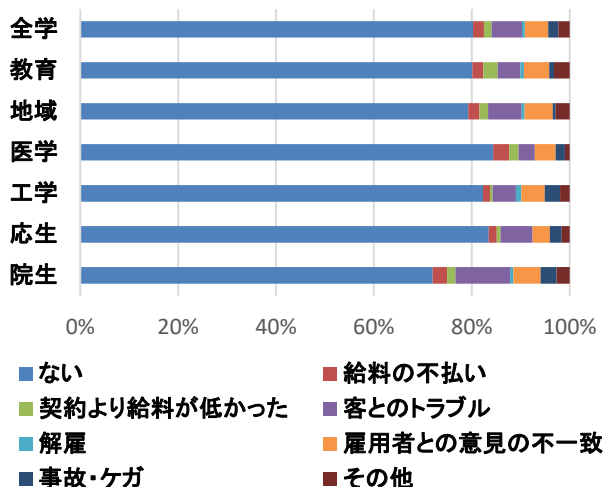
(10) アルバイトの種類

アルバイトの種類は、全学で「家庭教師」が28.6%【26.8%】、「コンビニ・飲食店等手伝い」が23.6%【29.1%】、「受付・接客」が16.3%【17.2%】である。地域科学部、工学部、応用生物科学部で「コンビニ・飲食店等手伝い」と「家庭教師」がほぼ同率。教育学部、医学部では、「家庭教師」、「コンビニ・飲食店等手伝い」の順となる。意外にも大学院生は「家庭教師」の割合が少ない。前回の調査も同様であった。



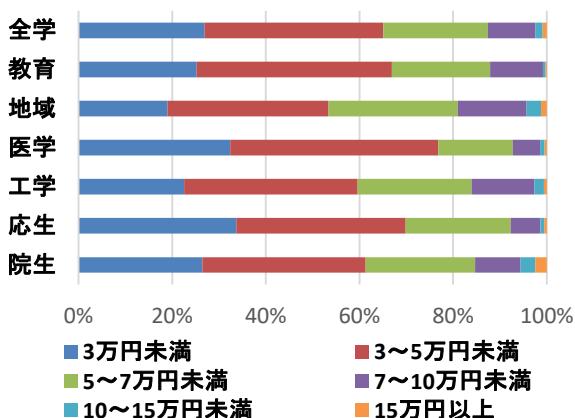
(12) アルバイトでのトラブル

アルバイトでのトラブルは、全学で8割以上が「ない」との回答であった。トラブルの内容として最も多かったのが「客とのトラブル」で6.2%、次いで「雇用者との意見の不一致」が4.8%となっている。



(11) アルバイトによる平均月収

アルバイトの平均月収は、「5万円未満」が全学で65.1%、「5～10万円未満」が32.4%であった。「5万円未満」の率が最も高かったのは医学部で、76.8%となっている。



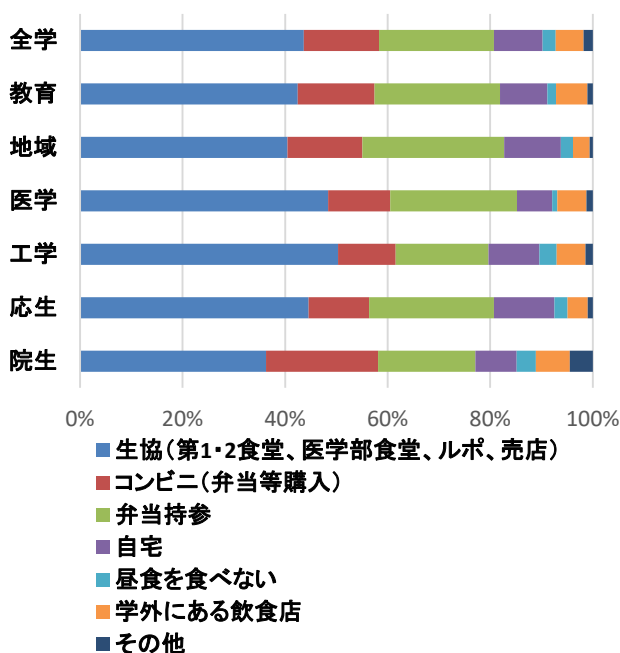
D 学生生活

迷惑行為の内容が大きく変化

(引続き、学生の相談しやすい仕組み作りが必要)

(1) 昼食は主にどこを利用していますか

全学では、「生協利用」が43.6%と最も多く、続いて「弁当持参」が22.4%、「コンビニ利用」が14.7%という結果となった。これは、各学部、院生ともにほぼ同じ結果となっており、6割の学生が外食をしていることが分かった。

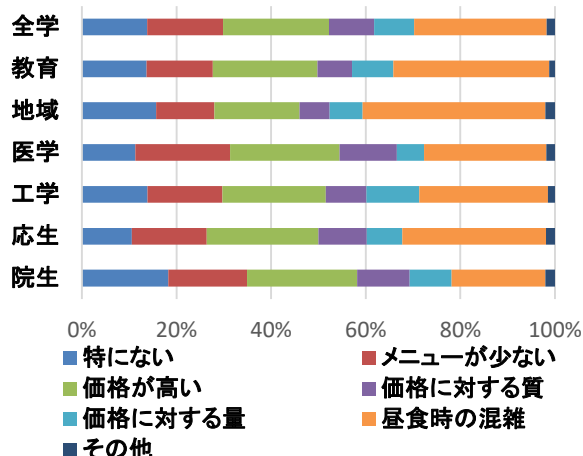


(2) 学生食堂について気になること

「昼食時の混雑」が28.0%と最も高かった。続いて、「価格が高い」が22.4%、「メニューが少ない」が16.0%という結果となった。

「昼食時の混雑」を30%以上選んだ学部は教育学部、地域科学部、応用生物科学部で、第1・2食堂に近い学部は混雑を気にしている傾向がある。

「メニューが少ない」を20%以上選んだ学部は医学部のみであった。



(3) 迷惑行為

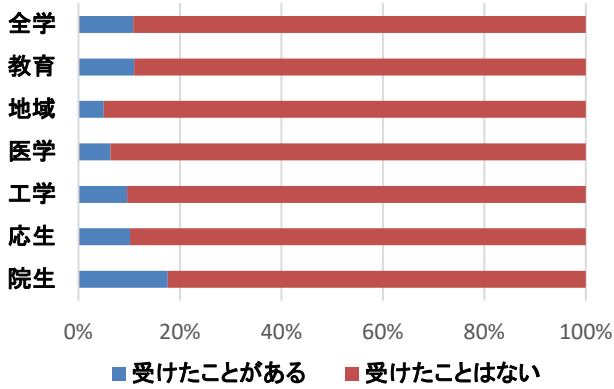
迷惑行為を受けたことはないと答えた学生は89.2%【91.8%】で、迷惑行為の経験がある学生数は微増傾向にあるといえる。迷惑行為の具体的な内容では、「ルール・マナー違反」がトップで72件、「受動喫煙」が66件、「盗難」が55件、「アカハラ」が42件と続く。前回多かった「いたずら電話」、「ストーカー」、「悪徳商法」、「セクハラ」は下位に留まるなど、迷惑行為の内容が明らかに変化している。今回の調査では選択肢を増加した効果もあるかもしれない。

相談相手は「友人・知人」、「家族」が多く、「誰にも相談しない」も多い。これは、「それ以外の迷惑行為相談」でも同じ結果となっている。

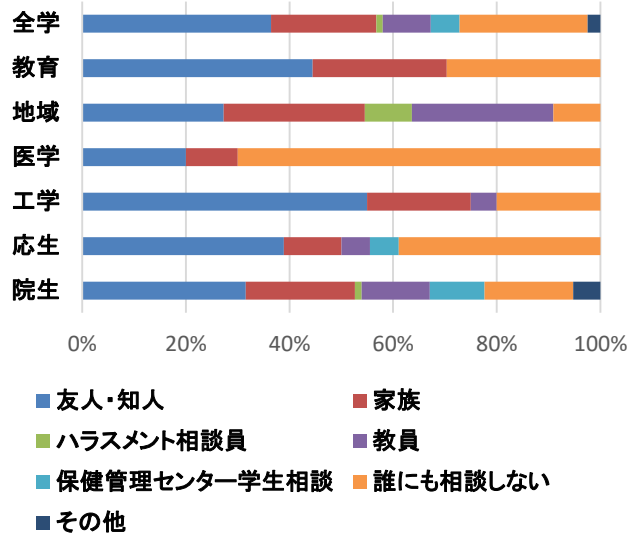
地域科学部の学生は、「ハラスメント相談員」と「教員」に比較的多く相談しているが、それ以外の学部生は、「ハラスメント相談員」や「教員」にはあまり相談していない。

ハラスメントに係る相談に関して、組織的な支援体制を強化する必要がある。

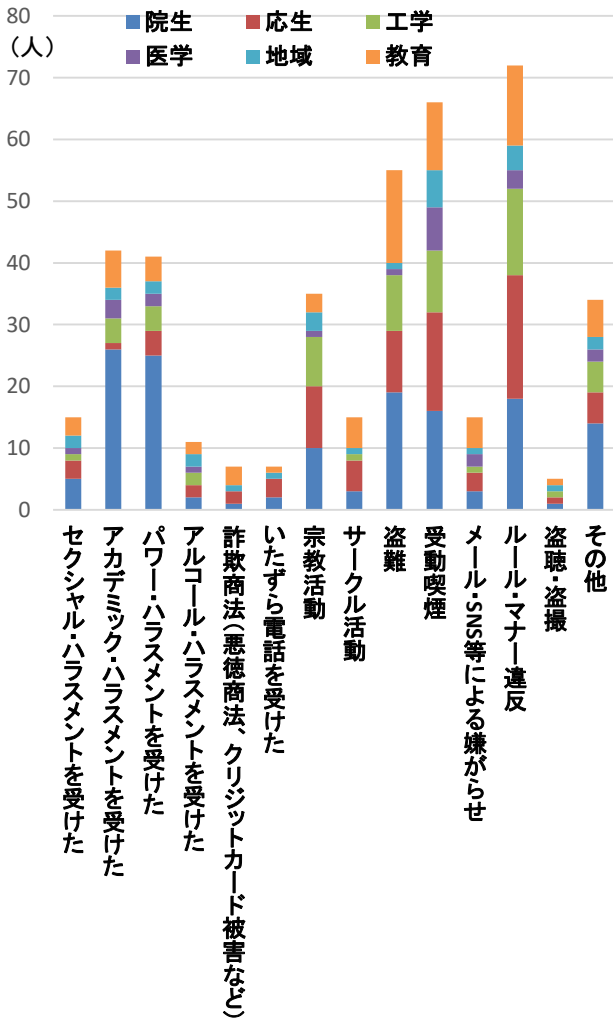
迷惑行為を受けた経験



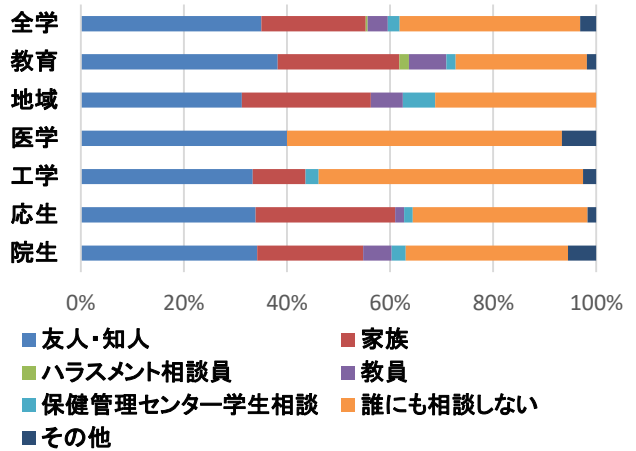
ハラスメント相談



迷惑行為の種類

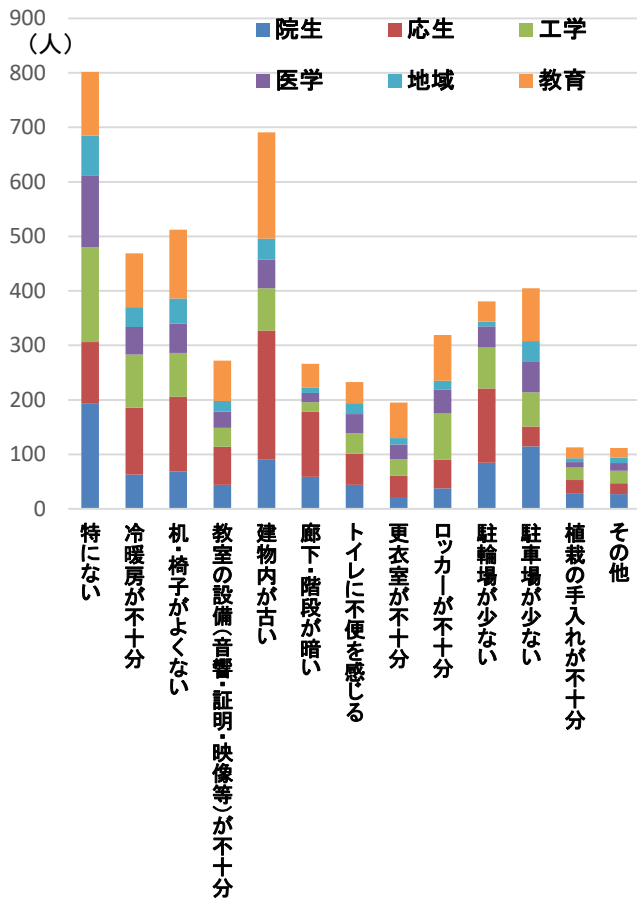


それ以外の迷惑行為相談



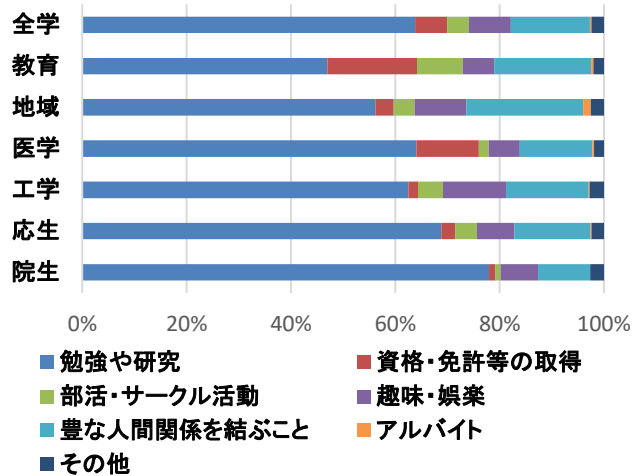
(4) 大学の施設で気になること

「建物が古い」が14.5%【16.6%】、「机・椅子がよくない」が10.7%【14.8%】、「冷暖房が不十分」が9.8%【10.0%】、「駐車場が少ない」が8.5%【9.9%】、「駐輪場が少ない」が8.0%【9.3%】などが目立つ。「建物が古い」、「机・椅子がよくない」という点は震災対策を順次進めた結果、不満度が減少したと考えられる。駐車場・駐輪場が少ないことへの不満が前回と変わらず多い。



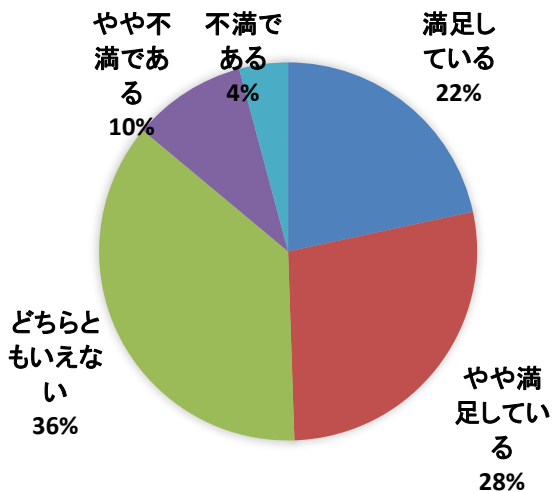
(6) あなたは、大学生活で何を第一に置いた生活をしていますか

全学では「勉強や研究」が63.8%【42.9%】、「豊かな人間関係を結ぶこと」が15.2%【16.1%】となっている。前回調査から順位に大きな変化は見られないが、「勉強や研究」の割合が大きく増加している。この設問では学部と大学院の差が顕著であり、院生は勉強や研究78.0%となっている。



(5) 事務室の対応に満足していますか

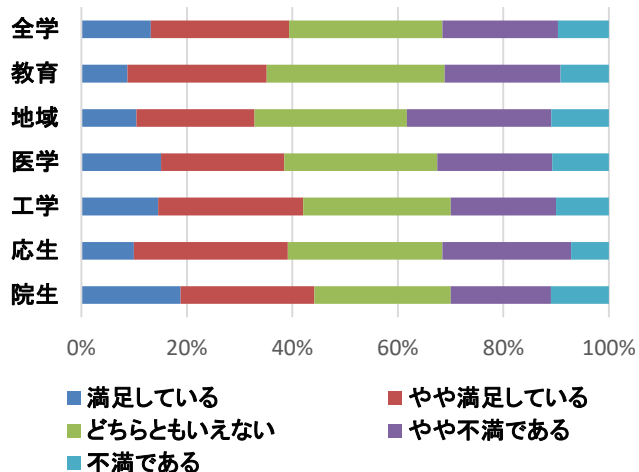
全学では、「満足」が50%【40%】、「どちらともいえない」が36%【40%】、「不満足」が14%【20%】となっている。



(7) 大学のICT(情報・通信技術環境)に満足していますか

全学的には「満足」と「やや満足」で4割、「どちらともいえない」が3割、「やや不満」と「不満」が3割という結果となった。否定的回答の割合は、前回とほぼ同じである。

学部別でみると、肯定的意見の割合が高いのは、院生、医学部、工学部、応用生物科学部で、教育学部と地域科学部が多少低い割合となっている。

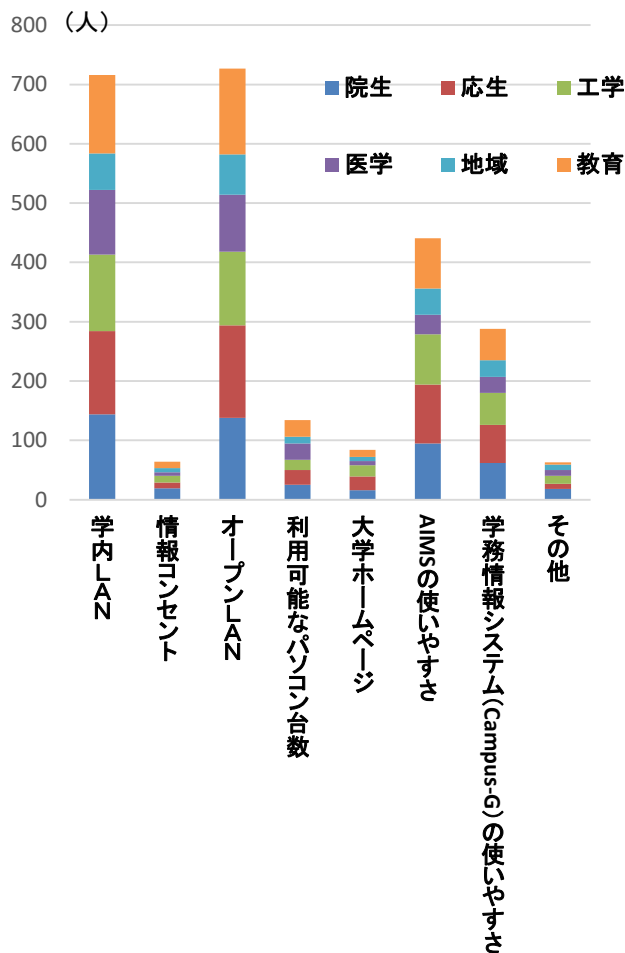


(8) 大学のICTに満足していないのは、どの環境ですか

満足していないと回答した者に対して、具体的にはどの点かを聞いたところ、「オープンLAN」が28.9%【29.3%】、「学内LAN」が28.4%【20.5%】、「AIMSの使いやすさ」が17.5%【27.6%】、「学務情報システムの使いやすさ」が11.4%、「利用可能なパソコン台数」が5.3%【12.2%】、「大学ホームページ」が3.3%という結果となった。

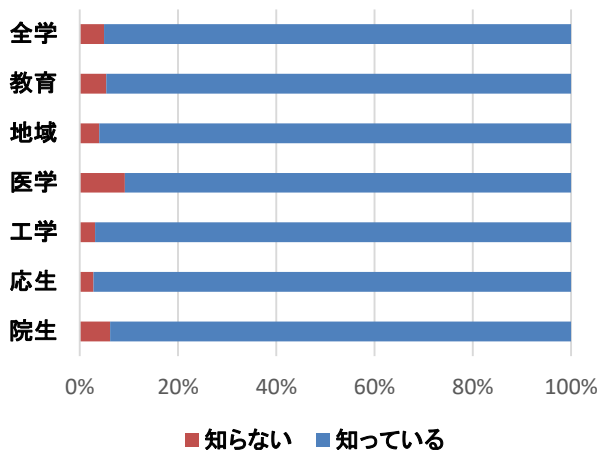
前回調査と比べると、「オープンLAN」、「学内LAN」の満足度が相変わらず低い。これは、システム障害や接続の悪さに起因するものと推測される。

「AIMSの使いやすさ」、「利用可能なパソコン台数」については、かなり改善された。また、前回調査になかった「学務情報システムの使いやすさ」、「大学ホームページ」については、満足度が高い結果となっている。



(9) あなたは、岐阜大学が「キャンパス内全面禁煙」を宣言していることを知っていますか

全学では「知っている」が95.1%【94.1%】、「知らない」が4.9%【4.7%】となった。学内への周知はかなり進んでいるといえる。



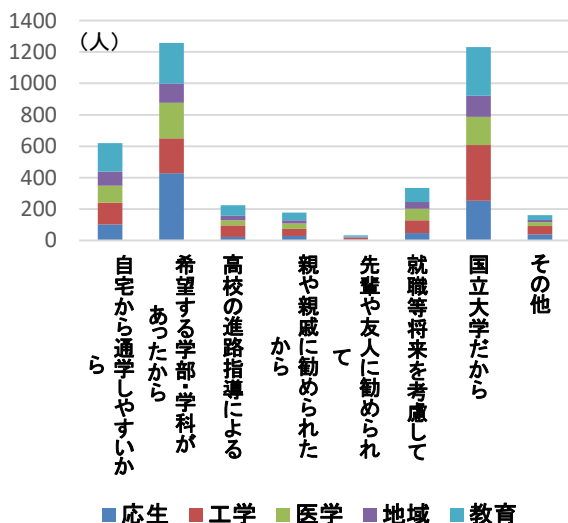
E 修学状況(学部生)

学生の単位取得、授業への出席が改善！ (しかし、オフィスアワーの利用促進が必要)

(1) 本学を選んだ主な理由

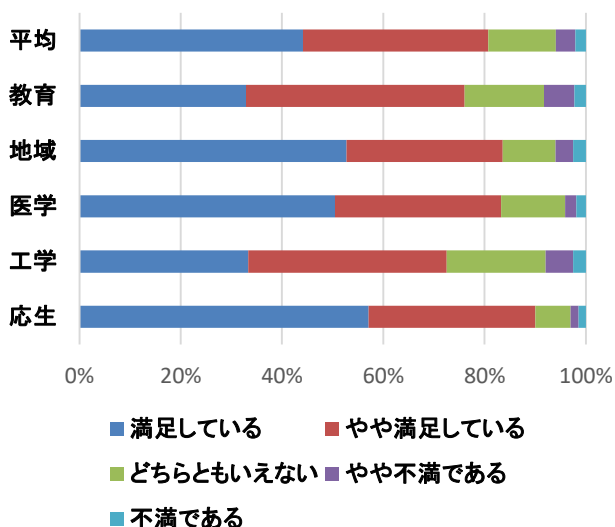
本学の志望理由は、全体で見ると、「希望する学部・学科があったから」が31.2%で1位、「国立大学だから」が30.5%で2位、「自宅から通学しやすいから」が15.3%で3位である。前回調査では、「国立大学だから」が30.3%で1位、「希望する学部・学科があったから」が25.5%で2位だったので順位が変わったことになる。これは、本学の人材養成や高度人材養成が高校生や保護者により明確に伝わっていることの表れといえる。

学部別の傾向でもほぼ同様であるが、教育学部、応用生物科学部及び医学部は、「希望する学部・学科があったから」を挙げた割合が一番高く、それぞれ46.0%及び33.2%である。工学部は「国立大学だから」を挙げた割合が一番高く、36.4%である。本学の志望理由に大きな変化はなく、「自分のやりたいことを勉強するため」という理由に加え、「地元の国立」という点が継続して重要な要素となっている。



(2) 所属学部・学科に対する満足度

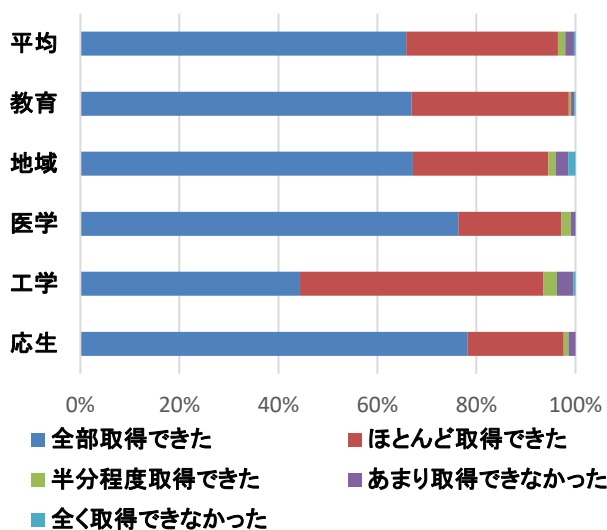
所属する学部・学科に対して「満足している」と答えた学生は全体で44.1%、「やや満足している」と答えた学生は36.6%であり、両者を加えると80.7%の学生は、概ね満足しているようである。2012年度の同肯定的意見が71.2%であったことから、2018年度の満足度は増加している。この点も本学の人材養成や高度人材養成が高校生や保護者により明確に伝わっていることの表れといえる。また、各選択肢に得点を与え、「満足している」を5点、「やや満足している」を4点、「どちらともいえない」を3点、「やや不満である」を2点、「不満である」を1点とした。そして、学部ごとに満足度を点数化してみると、2018年度は、教育学部が4.0、地域科学部が4.3、医学部が4.3、工学部が4.0、応用生物科学部が4.4である。2012年度は、教育学部が4.1、地域科学部が3.8、医学部が4.4、工学部が3.7、応用生物科学部が4.2であったことから、ほぼ同様の点数となり、いずれの学部も満足度は比較的高い。



(3) 単位取得状況

これまでの単位取得状況は、全体で、「全部取得できた」が65.8%、「ほとんど取得できた」が30.6%であり、両者を加えた96.4%の学生は順調に単位を取得している。それに対して、全体の3.6%の学生は、半分程度、あるいはそれ以下しか単位を取得できていない。前回調査の全体の単位取得状況では、「全部取得できた」が31.6%、「ほとんど取得できた」が47.6%で、両者を加えると79.2%であった。また、半分程度、あるいはそれ以下しか取得できていない学生は全体で7.1%であった。単位取得状況は、大きく改善されている。

学部別では、半分程度以下しか単位を取得できていない率が高い学部は、工学部6.4%、地域科学部5.5%となっており、今後の状況を見守る必要がある。



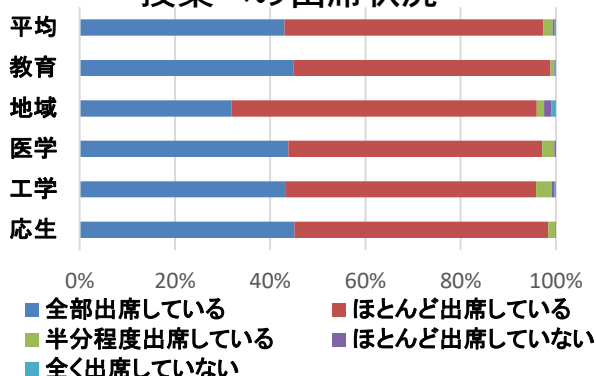
(4) 授業への出席状況

出席状況は、全体では、「全部出席している」が43.0%、「ほとんど出席している」が54.4%であり、両者を加えた97.4%の学生は出席状況に問題はない。一方、0.7%の学生はほとんど授業に出席していない。前回調査の全学の出席状況は、「全部出席している」と「ほとんど出席している」を加えると83.1%であり、ほとんど授業に出席していない学生は0.9%であったので、

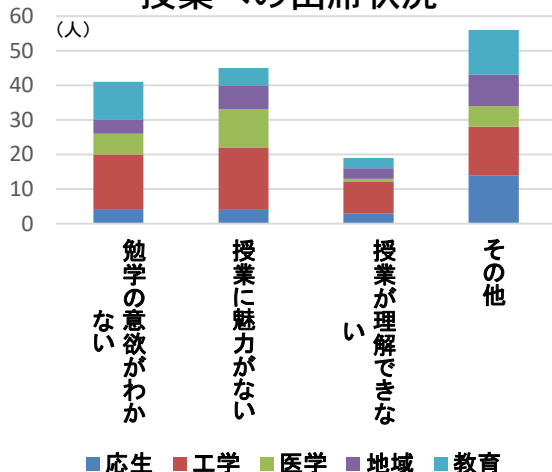
授業への出席状況は大きく改善された。

また、授業の欠席理由は、「授業に魅力がない」の28.0%、「勉学の意欲がわからない」の25.5%、「授業が理解できない」の11.8%の順で挙げられた。前回調査の欠席理由は、それぞれ31.3%、22.9%、10.4%であったので、「勉学の意欲がわからない」の割合がやや高くなったが、ほぼ同様の結果となっている。

授業への出席状況



授業への出席状況

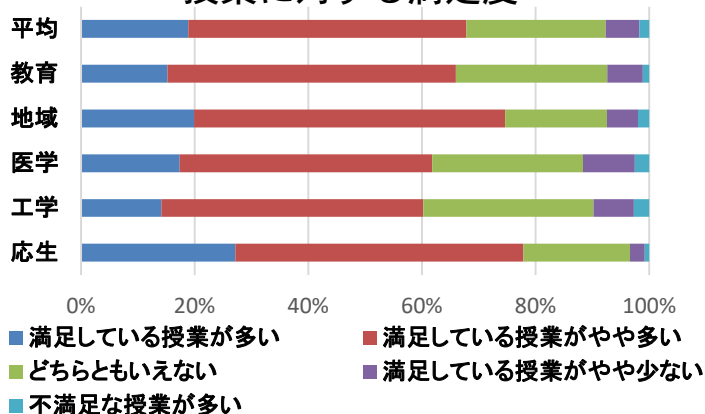


(5) 授業に対する満足度

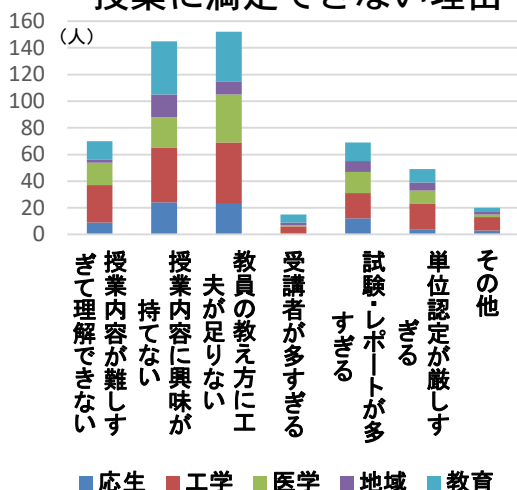
授業に対する満足度では、全体で「満足している授業が多い」が18.9%、「満足している授業がやや多い」が49.0%である。前回調査の満足度が、それぞれ14.7%、36.4%であったので、授業に対する満足度はかなり高くなった。また、満足できない理由としては、「教員の教え方に工夫が足りない」が29.2%、「授業内容がつまらない」が27.9%、「内容が難しすぎて理解できない」が13.5%の順で挙げられた。

前回調査における満足できない理由は、それぞれ28.4%、32.2%、15%であった。全般的に授業に対する満足度は高くなっており、つまらない、難しく理解できないといった授業への不満は年々改善されている。しかし、工夫が足りないといった教員側に対する不満はやや高くなった。引き続き、大学・教員側と学生側双方における問題点を検証する必要がある。

授業に対する満足度



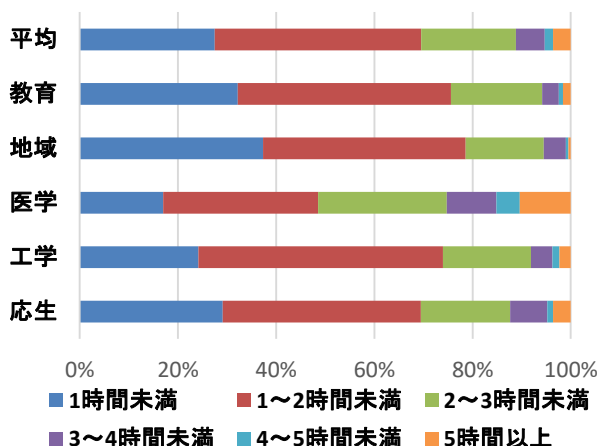
授業に満足できない理由



(6) 授業の予習・復習時間

1日に予習・復習にける平均時間は、「1～2時間未満」が42%、「1時間未満」が27.5%で、「2時間以上勉強する」のは30.5%であった。前回の調査では、「1時間未満」が66%、「1～2時間未満」が26.9%であり、「2時間以上勉強する」のは6%であったことから、大きく改善したといえる。

単位取得状況と授業への出席状況が改善していることに比例した結果と考えられる。



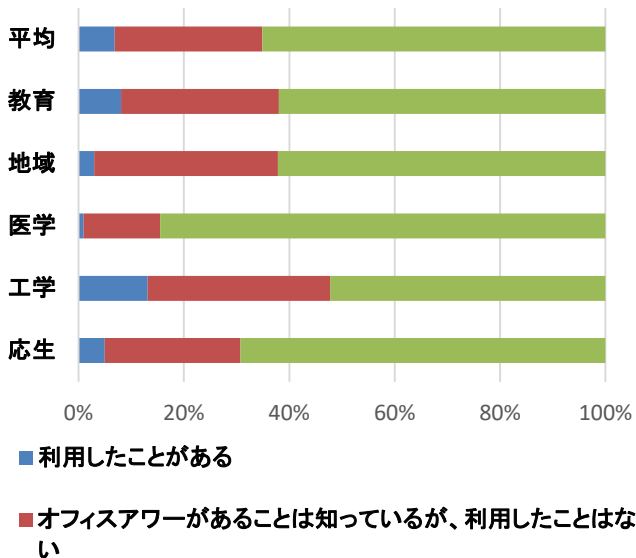
(7) オフィスアワーの利用

「オフィスアワーを利用したことがあるか」との問いには、全体でわずか6.8%【7.2%】しか利用した経験のある学生がいなかった。また、65.2%【66.7%】の学生は、オフィスアワーの制度そのものを知らないと回答している。オフィスアワーの制度を知っていても利用したことがない学生は28.0%【22.4%】である。オフィスアワーの利用状況および制度を知らない学生割合にはほとんど改善がみられていない。継続して、この制度について学生への周知が必要である。

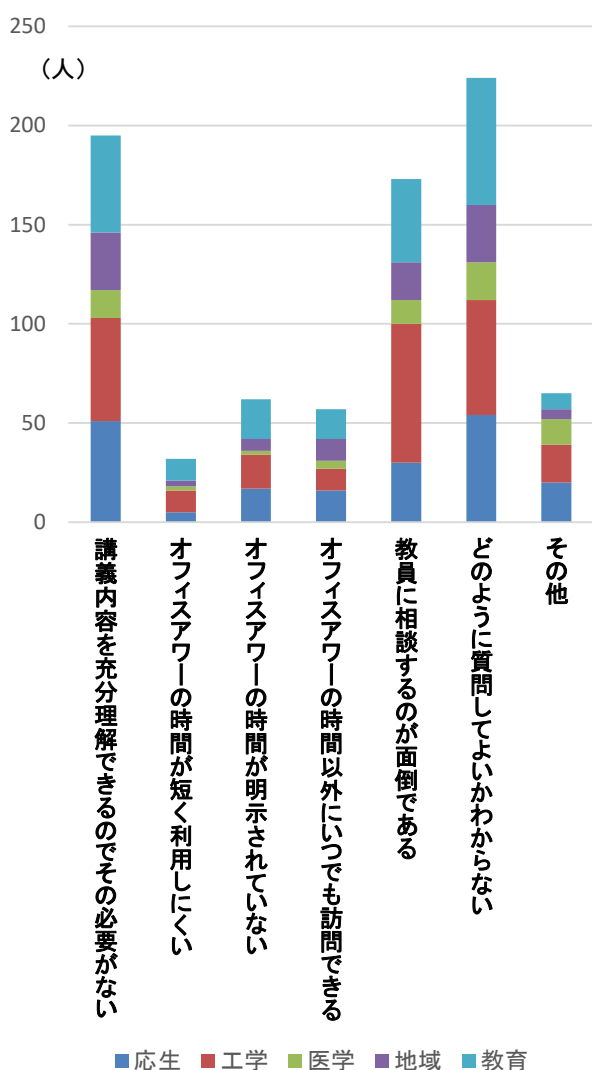
また、利用しない学生は、その理由として、「どのように質問してよいかわからない」が27.7%【24.8%】、「講義内容を充分理解できるのでその必要がない」が24.1%【21.0%】、「教員に相談するのが面倒である」が21.4%【28.2%】の順で挙げており、これについても前回から改善が進んでいない。

オフィスアワーを利用しやすく、進んで利用したいと思える状況を築くためには教員側の検討も必要である。そうすることで学習への関心が高まり、予習・復習時間、授業への出席率、単位取得率のみにとどまらず、所属学部・学科に対する満足度、授業に対する満足度がより高まると考えられる。

オフィスアワーの利用状況



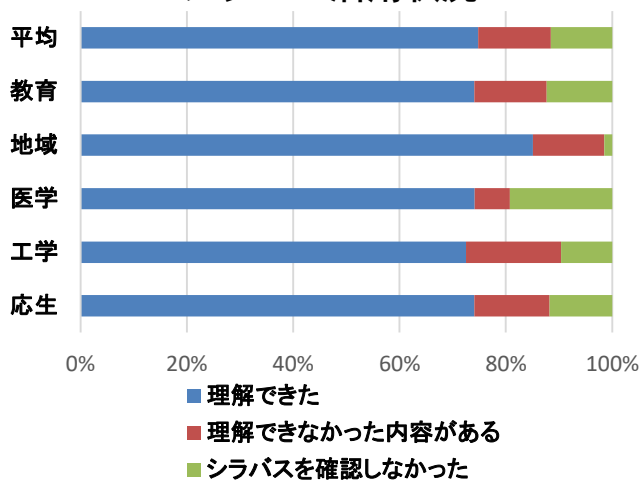
オフィスアワーを利用しない理由



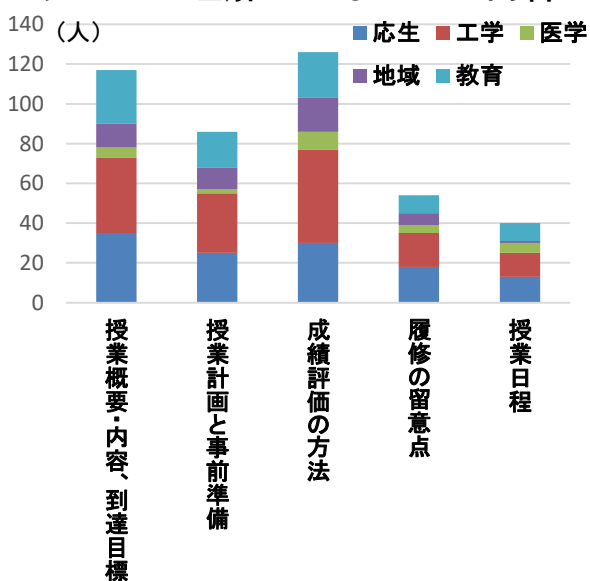
(8) シラバスの活用

シラバスの活用状況は、全体でみると、「理解できた」が74.8%【40.5%】、「理解できなかった内容がある」が13.7%【34.5%】、「シラバスをほとんど読まなかった」が11.5%【24.3%】という結果で、前回調査と比較してかなり活用が高まっている。「シラバスをほとんど読まなかった」は学部によって違いがみられ、医学部が19.2%で割合が一番高く、地域科学部が1.5%が一番低い。理解できなかったシラバスの内容は、「成績評価の方法」の29.8%、「授業目的・内容・到達目標」の27.7%、「授業計画と事前準備」の20.3%の順で挙げられた。

シラバス活用状況

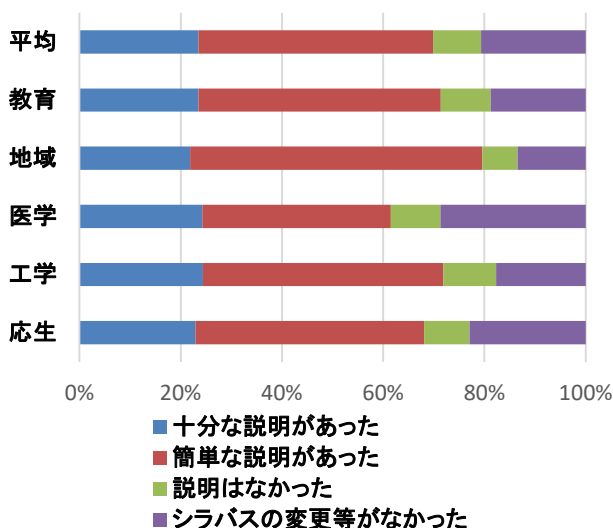


シラバスで理解できなかった内容



(9) シラバスの変更等の周知

シラバスの変更等の周知は、全体で「十分な説明があった」が23.5%【16.4%】、「簡単な説明があった」が46.4%【50.6%】であり、両者を加えた69.9%【67%】でシラバスの変更等について何らかの説明があったことになる。また、「説明はなかった」が9.5%【13.4%】、「シラバスの変更等がなかった」が20.7%【18.6%】であり、シラバスに大きな変更等がないこともある。そのため、シラバスに重要な変更等があった場合に十分な説明がなされているかが問題点となろう。

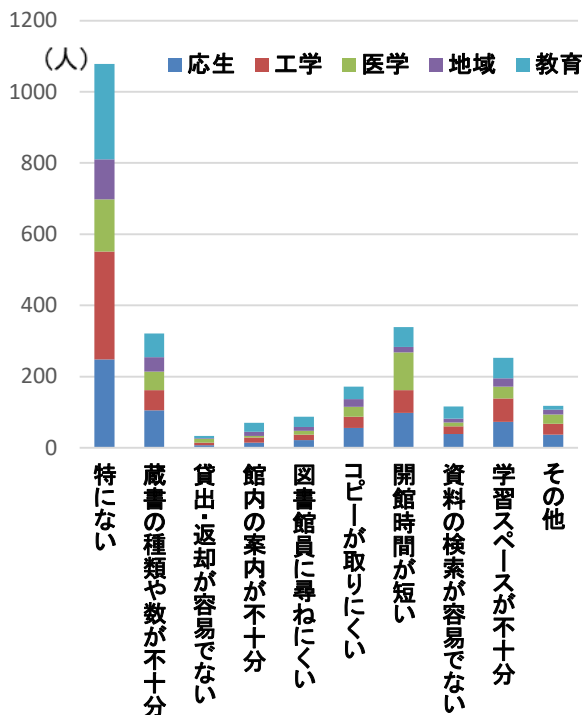


(10) 図書館について気になること

「特にない」が41.7%であることから、概ね満足していると考えられるが、「開館時間が短い」が13.1%、「蔵書の種類が少ない」が12.4%となっており、利便性に否定的な意見があることは見逃せない。

学部別に見ると、「開館時間が短い」が一番多いのは医学部(24.8%)で、医学部生の1/4が利便性に不満を感じている結果となった。医学部生が主に利用する医学図書館の利便性について検討が必要である。医学部以外の学部では10%前後となっている。

その他の否定的意見については、各学部横並びであった。

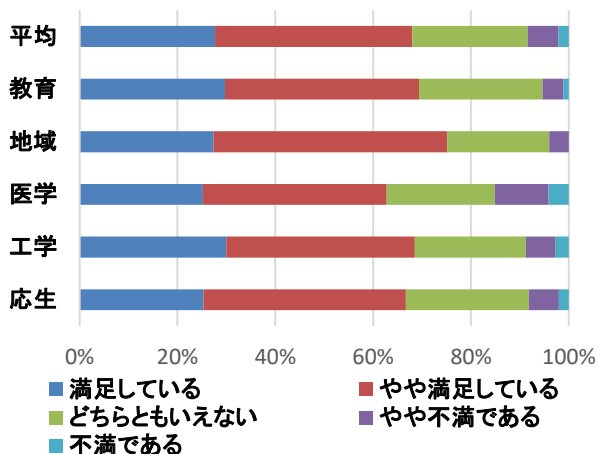


(11) 自主的学習環境に対する満足度

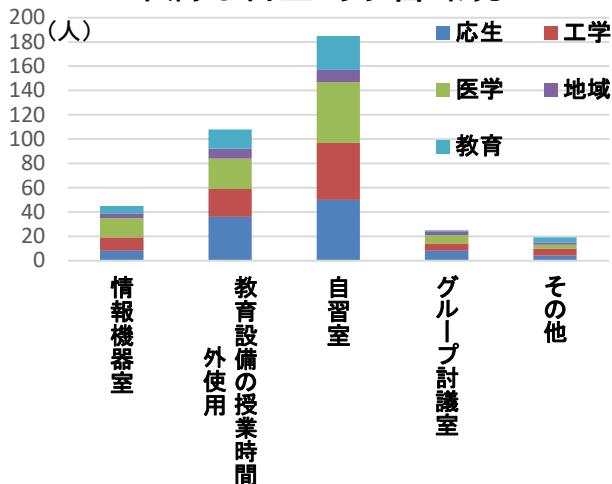
大学の自主的学習環境に対する満足度では、全体で見ると、満足している学生が68%【74%】、満足していない学生が32%【25.2%】となっており、満足の割合が前回よりも減っている。

満足していない自主的学習環境として、「自習室」が48.4%【61.1%】「教育設備の時間外使用」が28.3%【19.3%】、「情報機器室」が11.8%【9%】という結果となった。時間外に設備を使用できる環境をどのように提供するか検討を要する。

自主的学習環境の満足度



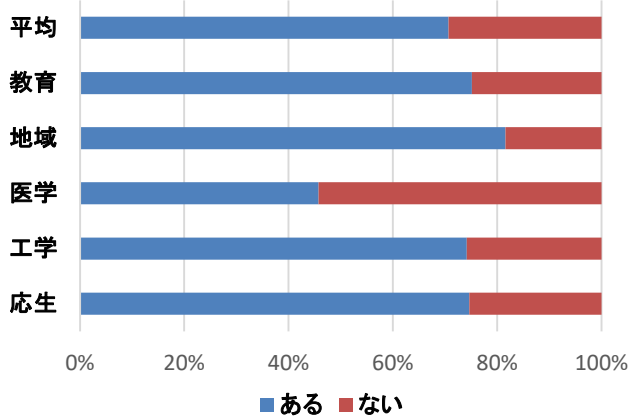
不満な自主的学習環境



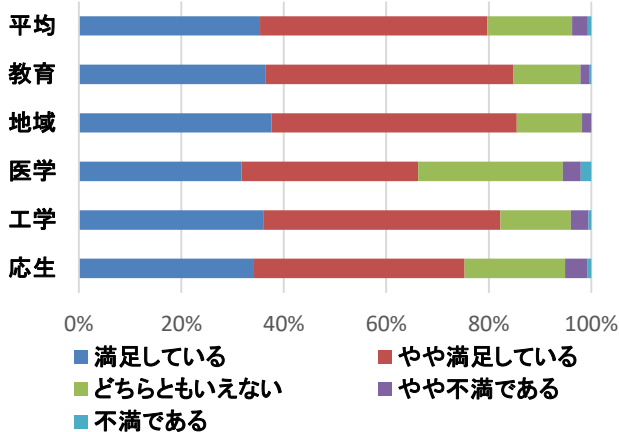
(12) アカデミック・コアの利用状況

アカデミック・コアは、全学で7割の学生が使用したことがある結果となった。しかし、医学部学生の使用率は45.7%と極端に低い。これは立地・距離の問題と考えられる。また、使用したことのある学生の8割が環境に満足している結果となった。

アカデミック・コアの利用経験



アカデミック・コアの満足度



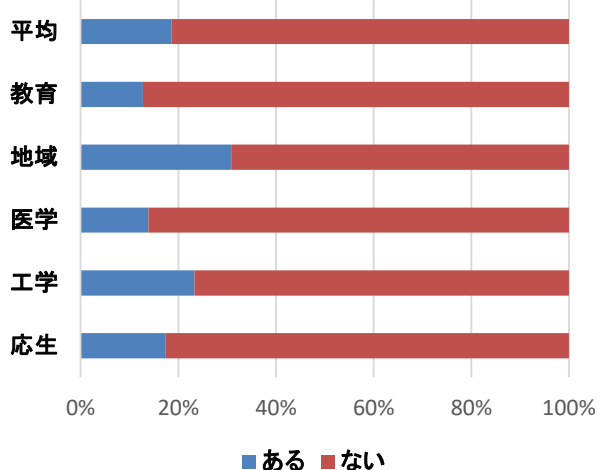
(13) サテライトキャンパスの利用状況

サテライトキャンパスは、全学で8割以上の学生が使用したことがない結果となった。

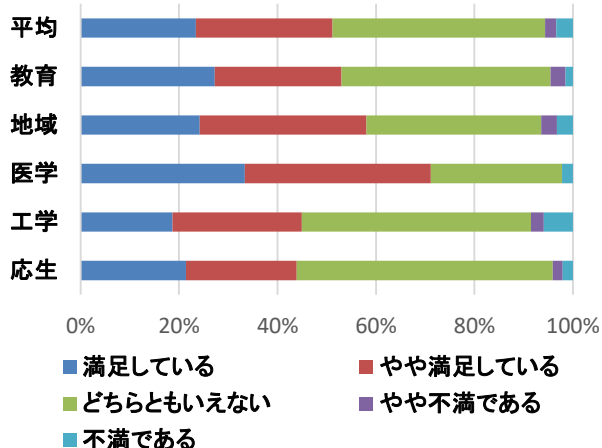
学部別で利用したことがある割合が一番高いのは地域科学部で、30.8%であった。その他の学部は、工学部が23.3%、応用生物科学部が17.4%、教育学部及び医学部は15%を切る結果となった。学部によってサテライトキャンパスを利用する割合がばらつく理由を検証する必要がある。

また、利用したことがある学生の満足度については、「満足」「やや満足」で約5割、「どちらでもない」以下が約5割と意見が分かれた。これについても理由を検証する必要がある。

サテライトキャンパスの利用経験



サテライトキャンパスの満足度

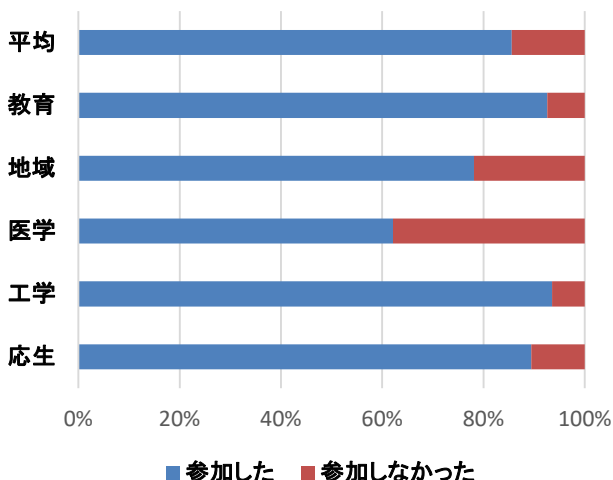


(14) ガイダンスへの参加

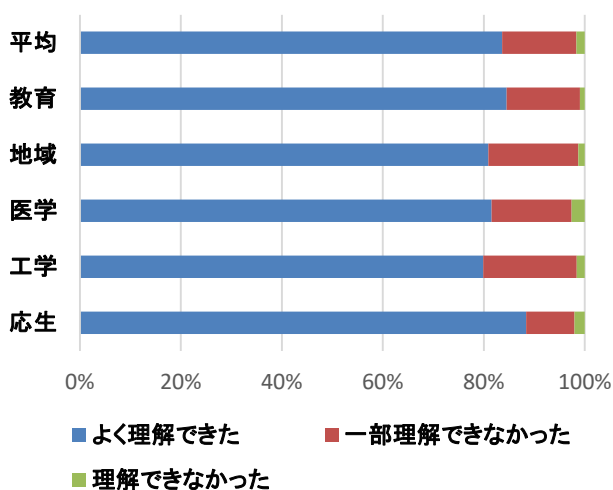
履修ガイダンスへの参加状況は、全体でみると、参加した学生が85.6%【83.9%】、参加しなかった学生が14.4%【15.2%】で、前回とほぼ一緒の結果となった。

参加した学生のうち、ガイダンスの内容を「よく理解できた」が83.6%【70.2%】、「一部理解できなかった」が14.7%【27.5%】、「理解できなかった」が1.7%【1.7%】であった。前回より理解できた割合が高くなったが、理解できていない学生へのフォローをどうするか検討する必要がある。

ガイダンスへの参加状況



ガイダンスの内容に対する理解度

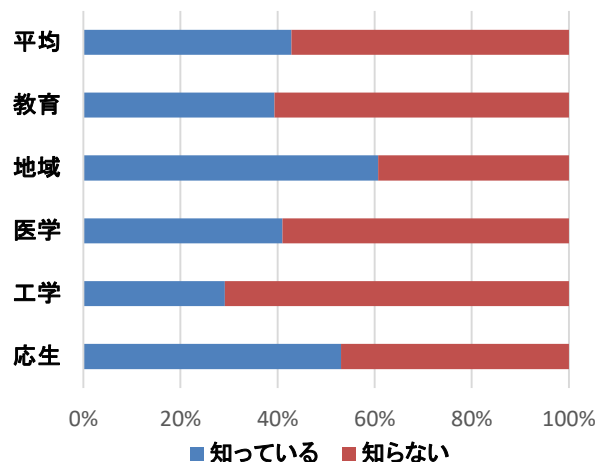


(15) 学部の教育研究目的

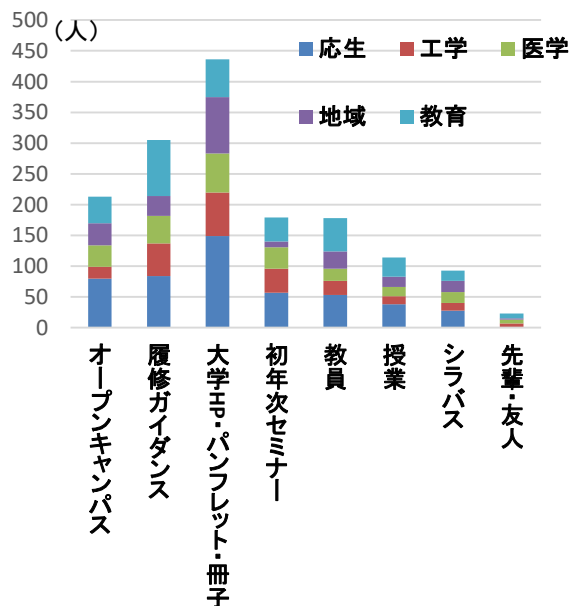
所属する学部の教育研究目的を知っているかという問いには全体で、知っている学生が42.9%【39.7%】、知らない学生が57.1%【59.7%】で、前回とほぼ一緒の結果となった。

学生が所属する学部の教育研究目的を知りえた手段としては、「大学HP・パンフ・冊子」が28.3%(436人)と一番高く、「履修ガイダンス」が19.8%(305人)、「オープンキャンパス」が13.8%(213人)、「初年次セミナー」「教員」が同率で11.6%(179人)という結果となった。

教育研究目的の認知度



教育研究目的を知った手段



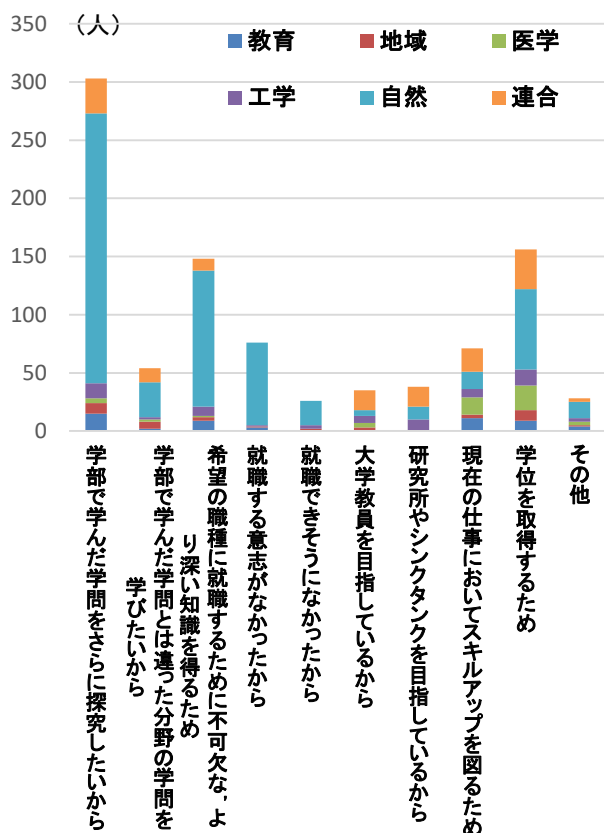
E 修学状況(院生)

学問をさらに探究

(インターンシップへの参加が大幅に増加)

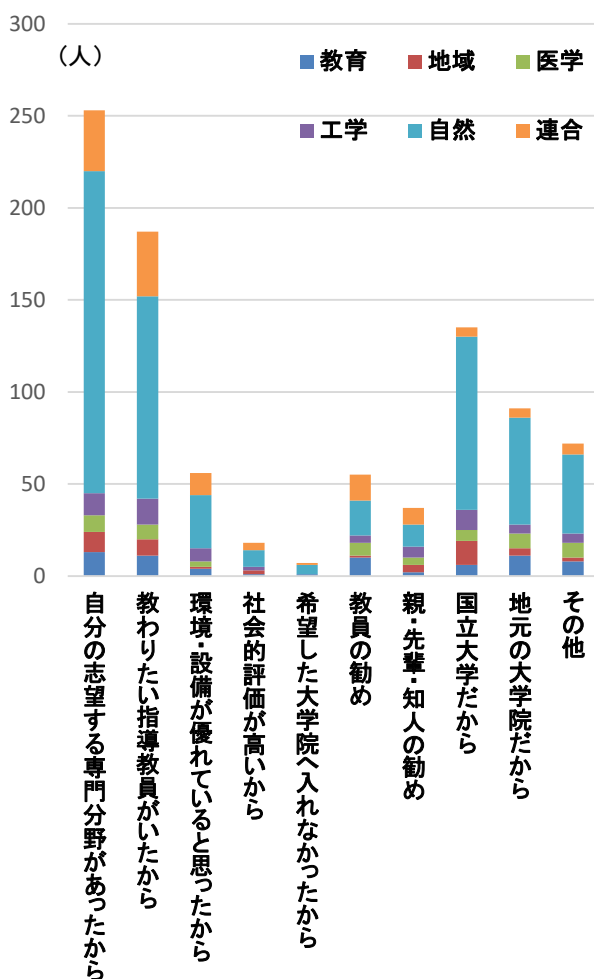
(1) 大学院を受験した理由

大学院を受験した理由としては、「学部で学んだ分野をさらに探究したい」が全体の1位で32.4%【35.9%】、「学位を取得するため」が2位で16.7%【14.5%】、「希望の職種に就職するために必要な深い知識を得るため」が3位で15.8%【17.1%】とほぼ前回と同じ結果となっている。自然科学技術研究科は、「学部で学んだ分野をさらに探究したい」を挙げた割合が他の研究科と比較して特に高く、39.7%となっている。また、医学系研究科では博士課程の学生が多いためか、「学位を取得するため」が理由の1位となっており、この点も前回から変化していない。



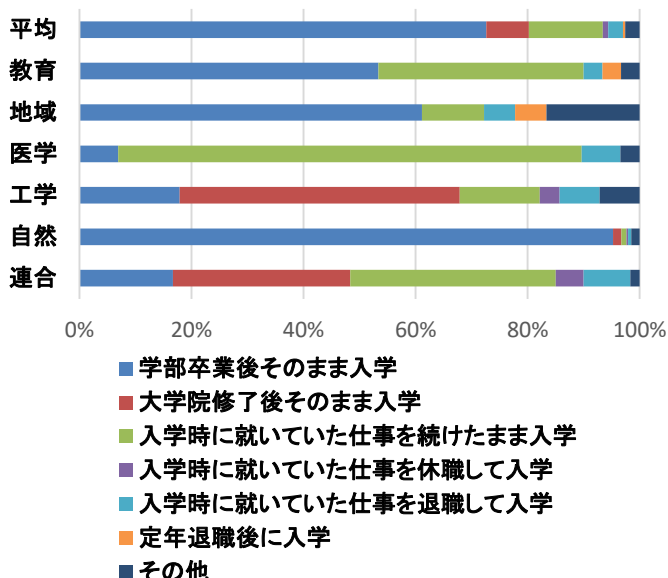
(2) 岐阜大学大学院を選んだ理由

岐阜大学大学院を選んだ理由としては、「自分の志望する専門分野があったから」が27.8%【31.4%】、「教わりたい指導教員がいたから」が20.5%【20.5%】、「国立大学だから」が14.8%【16.8%】という結果となり、前回と同じ結果となった。これらの理由はどの研究科でも上位の理由となっている。



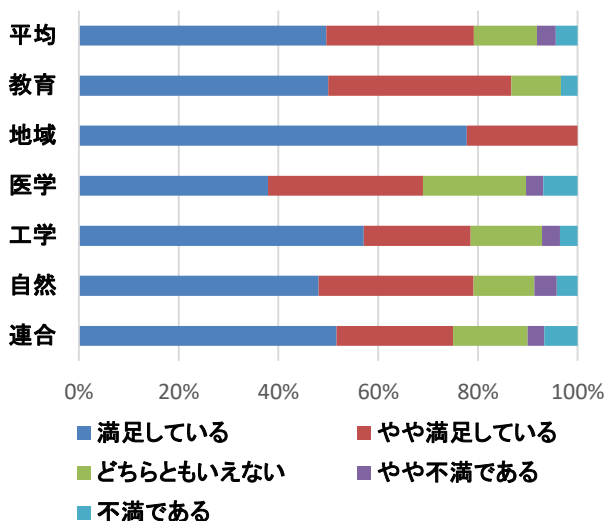
(3) 入学までのキャリア

大学院へは学部からそのまま進学する割合が最も高く、全体で72.6%【72.9%】である。中でも、自然科学技術研究科はこの割合が非常に高く、95.2%となっている。次いで割合が高い回答は「入学時に就いていた仕事を続けたまま入学」であり、全体で13.2%【10.8%】を占めている。医学系研究科では医師として勤務する傍ら学位の取得を目指す者が多く、「入学時に就いていた仕事を続けたまま入学」の割合が82.8%と他の研究科と比べてかなり高い。



(4) 研究指導方法に対する満足度

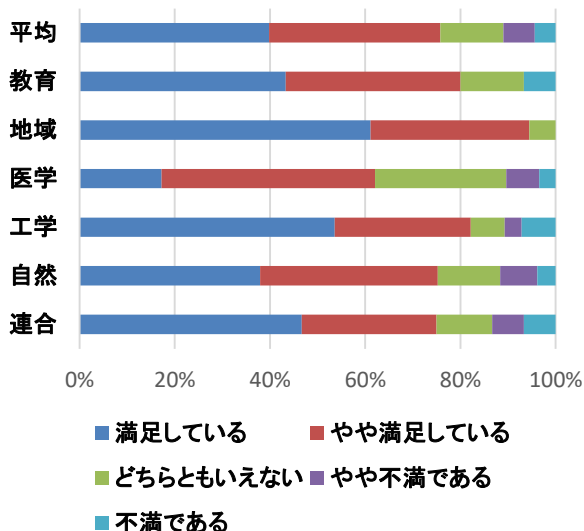
現在受けている研究指導方法について、「満足している」と回答した者は全体で49.6%【47.4%】、「やや満足している」と回答した者は29.6%【29.2%】であり、両者を合わせると79.2%【76.6%】の院生は概ね指導方法に満足しているようである。両者を合わせた割合は各研究科別で見ると、地域科学研究科で100%、教育学研究科で86.7%、自然科学技術研究科で79.1%、工学研究科で78.6%と満足度は高いといえる。ただし、医学系研究科は69%であり、満足度がやや低い傾向がみられた。これらの結果は前回と変化していない。



(5) 授業・研究環境に対する満足度

現在の授業・研究環境に対する満足度は、前述の「研究指導方法に対する満足度」とほぼ同様の結果である。すなわち、「満足している」39.8%【40.8%】と「やや満足している」36%【31%】を合わせた割合は75.8%【71.8%】であり、概ね授業や研究環境に満足しているといえる。また、研究科別で見た結果も先ほどと同様であり、教育学研究科、地域科学研究科、工学研究科、自然科学技術研究科、連合研究科では、いずれも「満足している」と「やや満足している」を合わせた割合が75%以上となっている。

しかし、医学系研究科ではその割合が62.1%であり、やや満足度が低い。

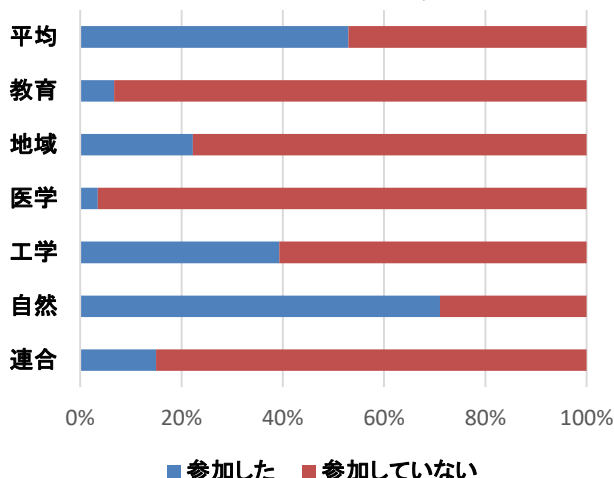


(6) インターンシップへの参加

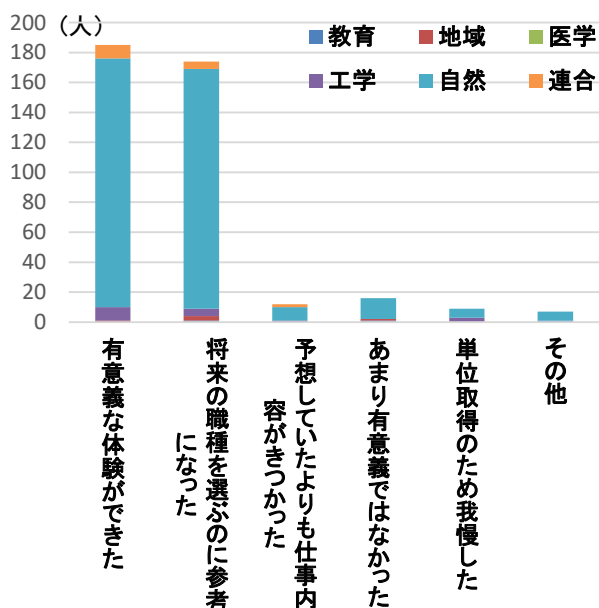
インターンシップへ参加した大学院生の割合は前回調査の18.5%から大幅に増えて53.0%であった。そのほとんどを自然科学技術研究科および工学研究科が占めた。

参加した院生からは、「有意義な体験ができた」が37.0%【53.6%】、「将来の職種を選ぶのに参考になった」が34.8%【31.3%】など、肯定的な感想が多く挙げられている。「あまり有意義ではなかった」と回答した院生はわずか3.2%【2.9%】であった。今後もインターンシップへ積極的に参加するよう教化し続ける必要がある。

インターンシップへの参加状況



インターンシップに参加した感想

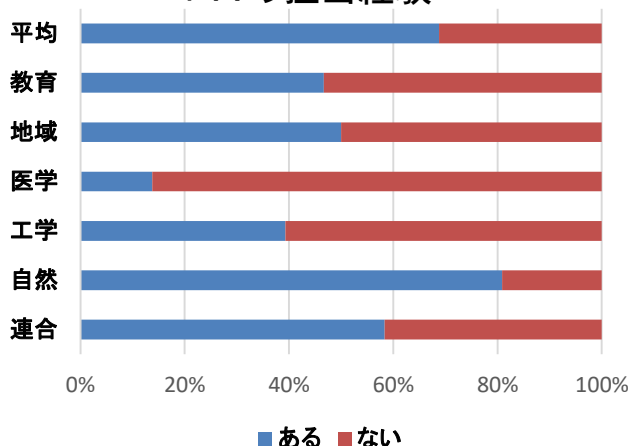


(7) TA、RAの担当

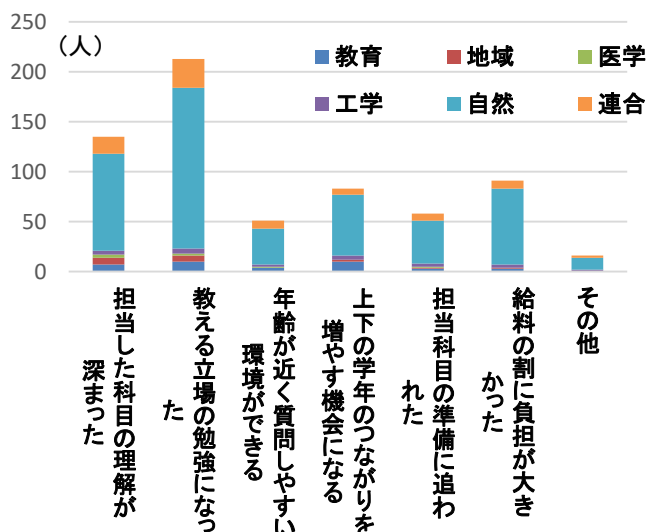
TAの担当経験に関する調査では、「担当したことがある」と回答した者が68.8%【57.2%】とかなり増加した。各研究科別でみると、自然科学技術研究科で80.9%、連合研究科で58.3%、地域科学研究科で50.0%、教育学研究科で46.7%と高く、工学研究科で39.3%、医学研究科で13.8%と低かった。

TAを担当した者の感想では、「教える立場の勉強になった」と回答した者が32.9%【30.7%】、「担当した科目の理解が深まった」が20.9%【23.5%】であり、担当したことが有意義であったと思われる。しかし、「給料の割に負担が大きかった」と回答した者が14.1%【12.8%】あり、内容の見直し、あるいは予算の増額等の措置が必要かもしれない。

TAの担当経験



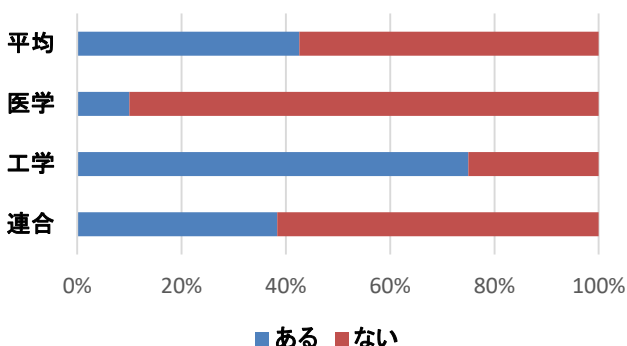
TAを担当した感想



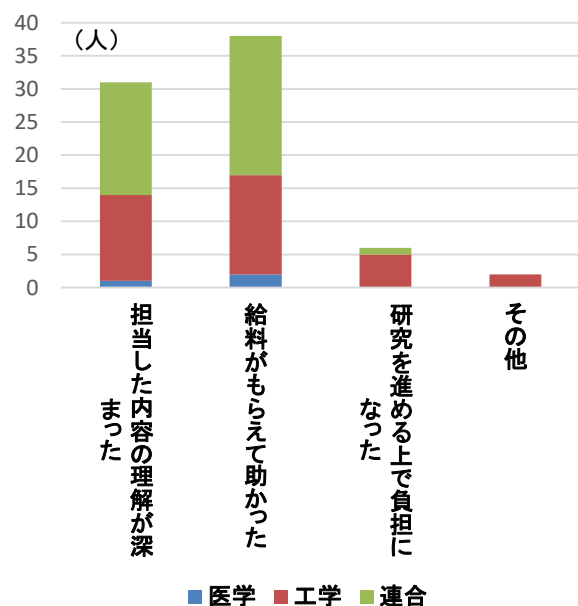
博士後期課程の学生を対象にRAの担当経験について尋ねたところ「担当したことがある」と回答した者は42.6%【41.8%】である。

経験者の感想では、「給料がもらえて助かった」が49.4%【46.5%】、「担当した内容の理解が深まった」が40.3%【44.1%】であり、有意義な点がある一方で、「研究を進める上で負担になった」とネガティブな回答をした者も7.8%【6.3%】いた。

RAの担当経験



RAを担当した感想

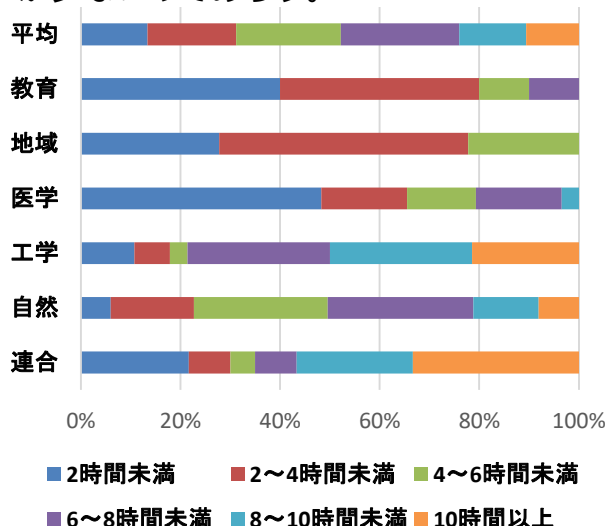


(8) 研究に費やす時間

1日に費やす平均研究時間は、「6～8時間未満」と回答した者が全体で1番多く、23.8%【22%】である。以下、「4～6時間未満」が21%【22.8%】、「2～4時間未満」が17.8%【20.9%】、「8

～10時間未満」が13.4%【8.6%】、「2時間未満」が13.4%【11.4%】、「10時間以上」が10.6%【8.6%】と続く。

各研究科間では差がある。研究に費やす時間数が多い研究科は、工学研究科、自然科学技術研究科および連合研究科で、前回と同じ結果となった。これらの研究科で行われている実験が長時間を要するものが多いことを反映しているのかもしれない。医学系研究科については、先述したとおり「入学時に就いていた仕事を続けたまま入学」した者が多く、仕事に割かねばならない時間が多いために研究に費やす時間が少ないのであろう。

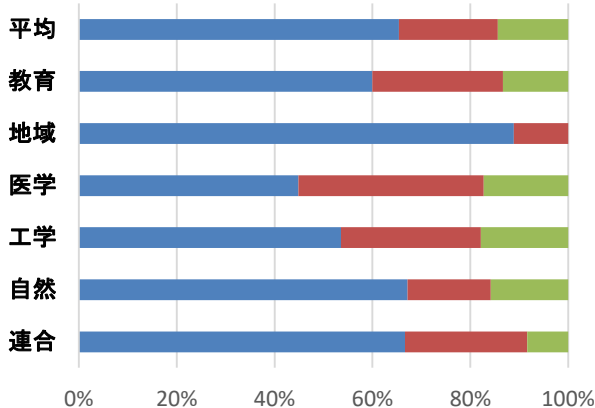


(9) シラバスの活用

シラバスの活用状況は、全体で見ると、「理解できた」が65.4%【学部は74.8%】、「理解できなかった内容がある」が20.2%【学部は13.7%】、「シラバスをほとんど読まなかった」が14.4%【学部は11.5%】となっており、学部よりも理解度が低い結果となった。「理解できた」割合は研究科毎にまちまちで、地域科学研究科が88.9%、自然科学技術研究科が67.2%、連合研究科が66.7%、教育学研究科が60.0%となっているが、工学研究科が53.6%、医学系研究科が44.8%と低い結果となった。今後検証が必要である。

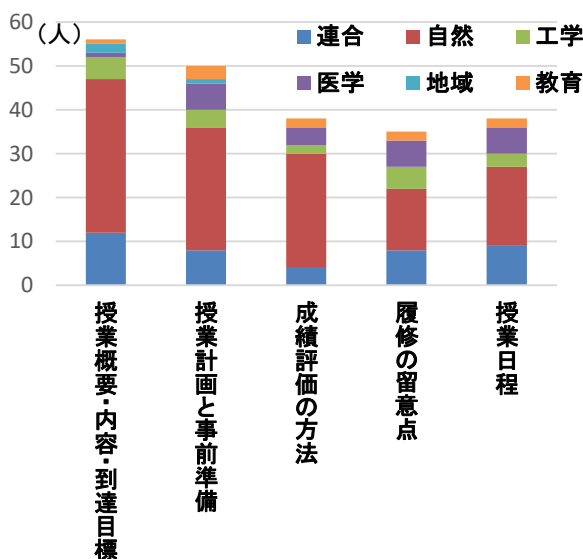
理解できなかったシラバスの内容は、「授業目的・内容・到達目標」が25.8%【学部は27.7%】、「授業計画と事前準備」の23.0%【学部は20.3%】、「成績評価の方法」の17.5%【学部は29.8%】となった。学部で最も多い回答が「成績評価の方法」であるのに対し、大学院では「授業目的・内容・到達目標」が最も高い結果となった。

シラバス活用状況



■ できた
■ できなかった内容がある
■ シラバスを確認しなかった

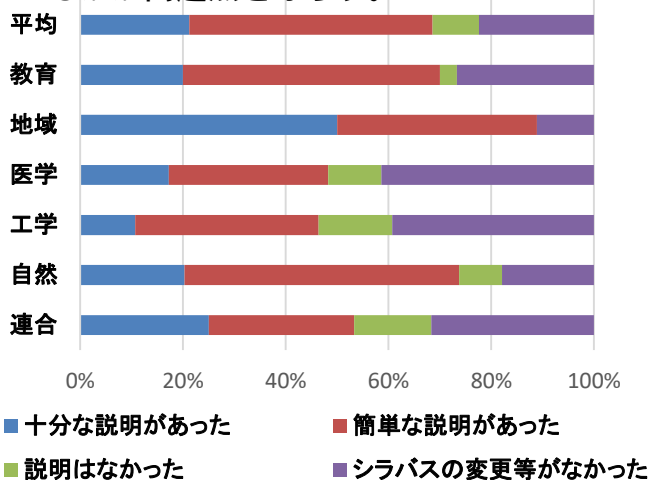
シラバスで理解できなかった内容



(10) シラバスの変更等の周知

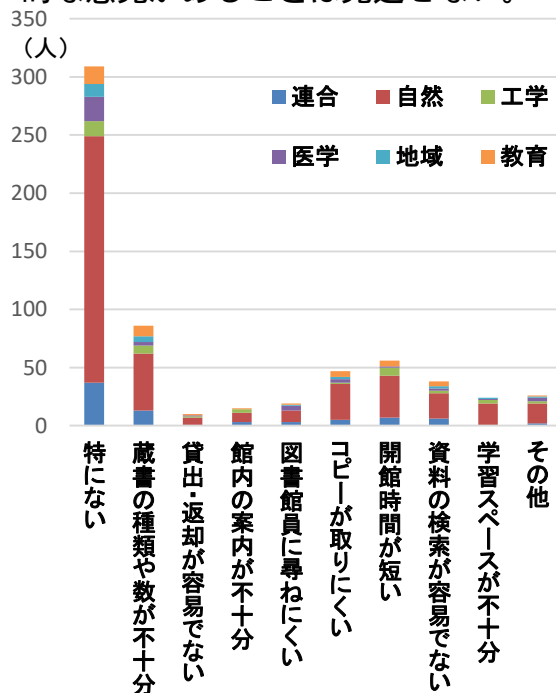
シラバスの変更等の周知は、全体で「十分な説明があった」が21.2%【学部は23.5%】、「簡単な説明があった」が47.4%【学部は46.4%】であり、両者を加えた68.6%【学部は69.9%】で

シラバスの変更等について何らかの説明があったことになる。また、「説明はなかった」が9.0%【学部は9.5%】、「シラバスの変更等がなかった」が22.4%【学部は20.7%】であり、シラバスに大きな変更等がないこともある。そのため、シラバスに重要な変更等があった場合に十分な説明がなされているかが問題点となろう。



(11) 図書館について気になること

「特にない」が49.0%【学部は41.7%】であることから、概ね満足していると考えられるが、「開館時間が短い」が8.9%【学部が13.1%】、「蔵書の種類が少ない」が13.7%【学部が12.4%】となっており、利便性に否定的な意見があることは見逃せない。

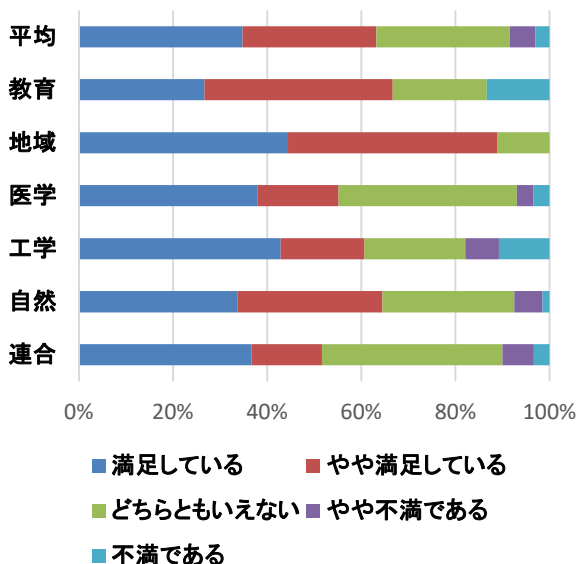


(12) 自主的学習環境に対する満足度

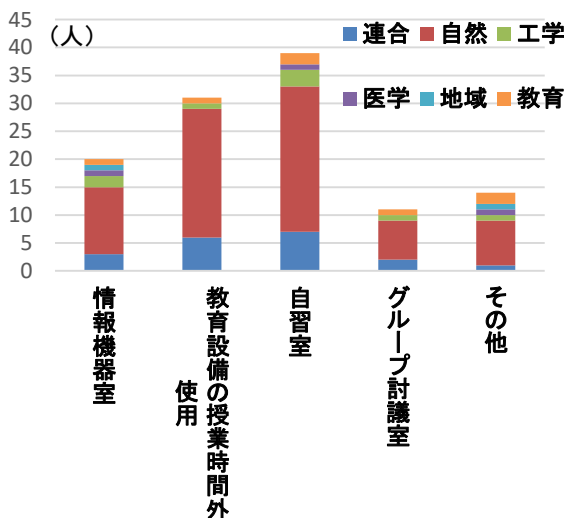
全体で見ると、満足している学生が63.2%【学部は68%】、満足していない学生が36.8%【学部は32%】となっており、満足の割合が学部生よりも若干低い結果となった。

満足していない自主的学習環境として、「自習室」が33.9%【学部は48.4%】「教育設備の時間外使用」が27.0%【学部は28.3%】、「情報機器室」が17.4%【学部は11.8%】という結果で、学部と順位が同じであった。時間外に設備を使用できる環境をどのように提供するか検討を要する。

自主的学習環境の満足度



不満な自主的学習環境

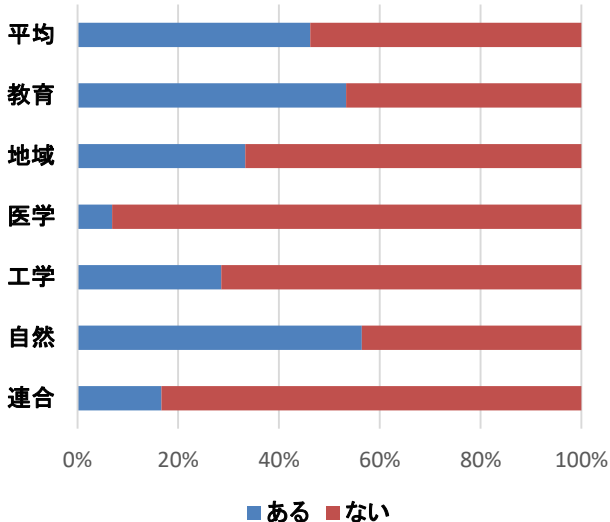


(13) アカデミック・コアの利用状況

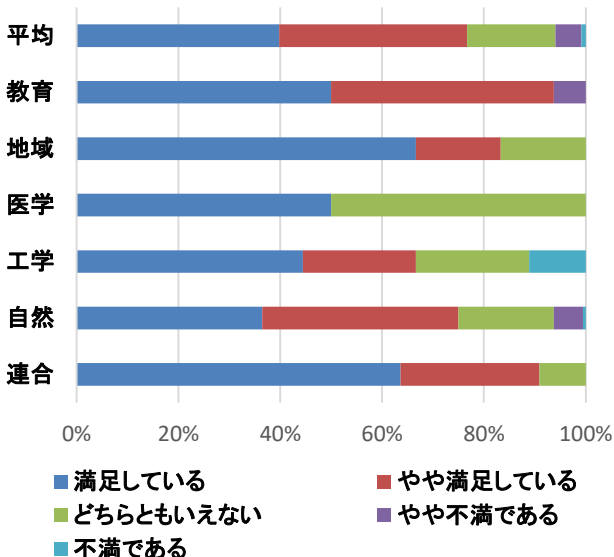
アカデミック・コアは、46.2%【学部は約7割】の学生が使用したことがあると回答し、大学院生の利用は学部生より低い結果となった。

研究科別では、自然科学技術研究科が56.4%、教育学研究科が53.3%、地域科学研究科が33.3%、工学研究科が28.6%、連合研究科が16.7%、医学系研究科が6.9%となっており、医学部地区の学生の利用率が極めて低い結果となった。これは立地・距離の問題と考えられる。また、使用したことのある学生の8割【学部も8割】が環境に満足している結果となった。

アカデミック・コアの利用経験



アカデミック・コアの満足度



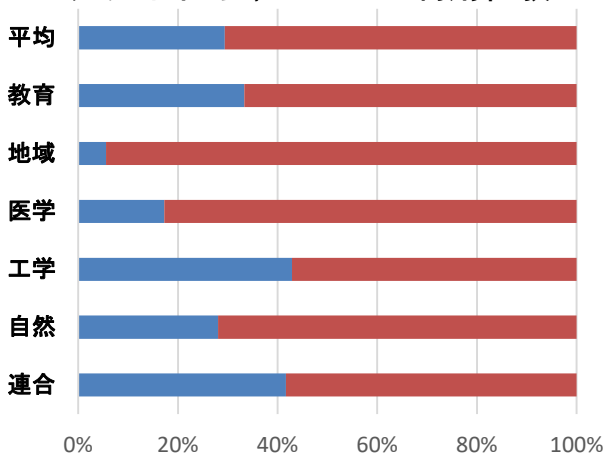
(14) サテライトキャンパスの利用状況

サテライトキャンパスは、7割以上【学部は8割以上】の学生が使用したことがない結果となった。

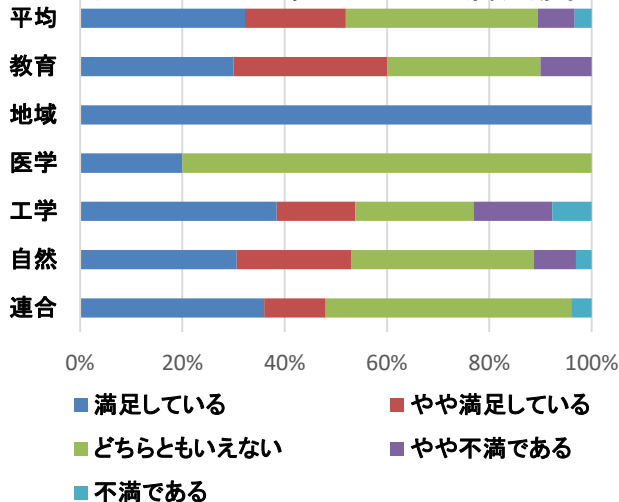
使用したことがあるのは、工学研究科が42.9%、連合研究科が41.7%、教育学研究科が33.3%、自然科学技術研究科が28.1%、医学系研究科が17.2%、地域科学研究科が5.6%という結果であった。研究科によってサテライトキャンパスを利用する割合がばらつく理由を検証する必要がある。

また、利用したことがある学生の満足度については、「満足」「やや満足」で約5割【学部も約5割】、「どちらでもない」以下が約5割【学部も約5割】と意見が分かれた。これについても理由を検証する必要がある。

サテライトキャンパスの利用経験



サテライトキャンパスの満足度

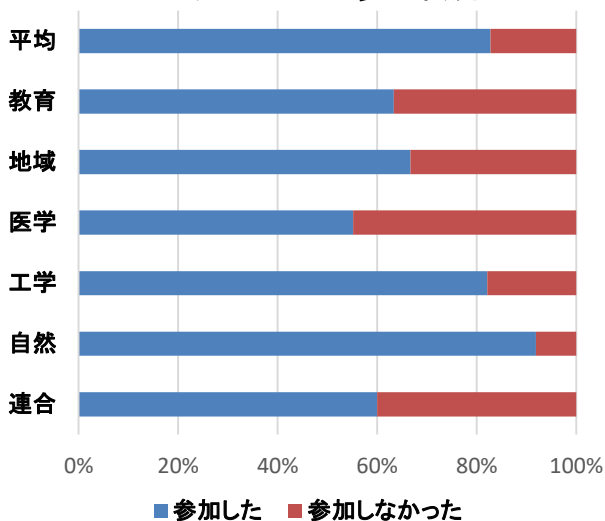


(15) ガイダンスへの参加

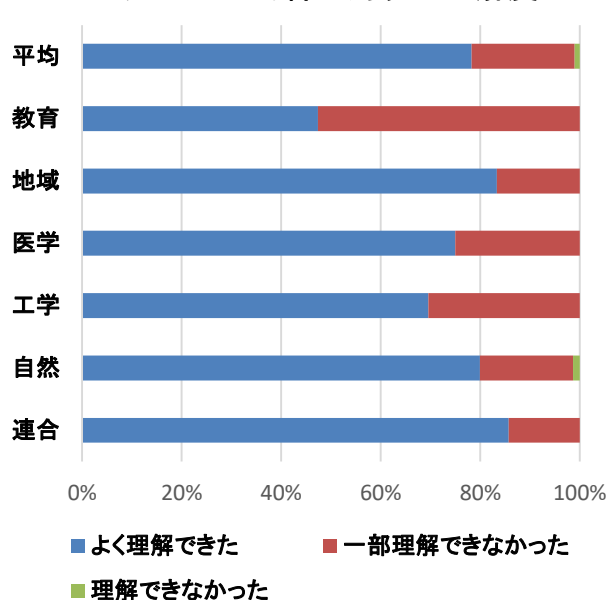
履修ガイダンスへの参加状況は、参加した学生が82.8%【学部は85.6%】、参加しなかった学生が17.2%【学部は14.4%】で、学部生よりも参加率が若干低い結果となった。

参加した学生のうち、ガイダンスの内容を「よく理解できた」が78.3%【学部は83.6%】、「一部理解できなかった」が20.8%【学部は14.7%】、「理解できなかった」が1.0%【学部は1.7%】であった。理解できた率も学部生より若干低いようである。理解できていない学生へのフォローをどうするか検討する必要がある。

ガイダンスへの参加状況



ガイダンスの内容に対する理解度

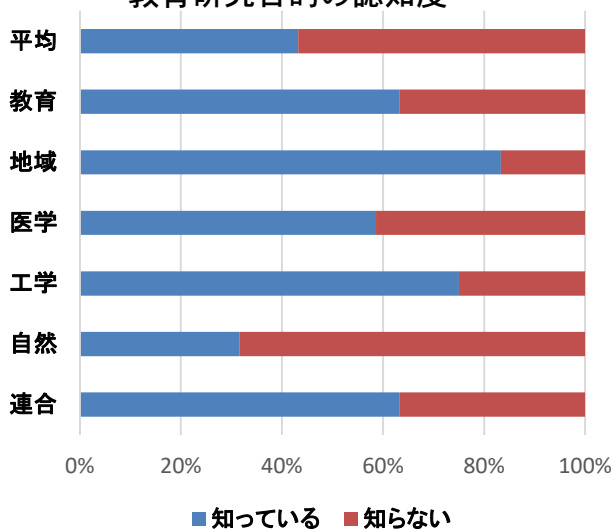


(16) 学部の教育研究目的

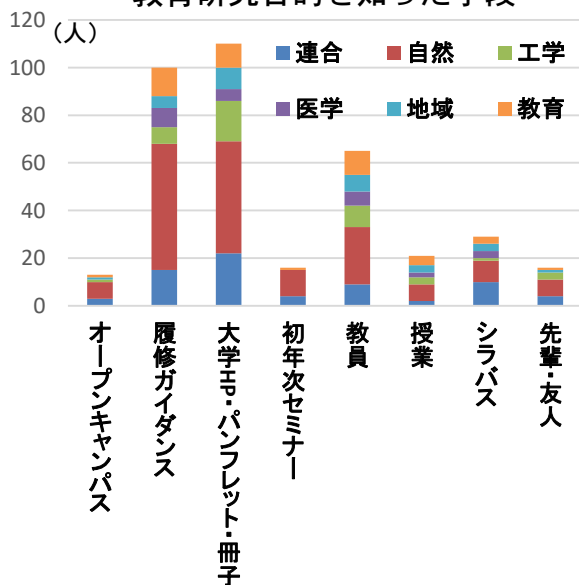
所属する学部の教育研究目的を知っているかという問いには、知っている学生が43.2%【学部は42.9%】、知らない学生が56.8%【学部は57.1%】で、学部生とほぼ一緒の結果となった。

学生が所属する学部の教育研究目的を知りえた手段としては、「大学HP・パンフ・冊子」が29.7%【学部は28.3%】と一番高く、「履修ガイダンス」が27.0%【学部は19.8%】で学部生と同じ順位となったが、「オープンキャンパス」は、学部生が13.8%となっているのに対して大学院生は3.5%と低い結果となった。

教育研究目的の認知度



教育研究目的を知った手段



F 課外活動等

6割の学生がサークル活動に参加

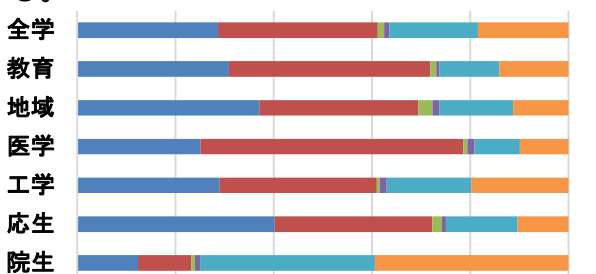
(1) 学内外のサークル加入状況

学生の約6割【約7割】が学内サークルに加入しており、文化系と体育系の比率はほぼ1：1となっている。学外サークルへ加入する学生は2.4%となっている。

また、サークルに加入したことがない学生は工学部と院生に多い。

今回の結果は前回の調査とほとんど変化はなかった。やはりサークルは、仲間づくりにも人間関係を学ぶにも最適の場なので、こういう機会は貴重であると思われる。

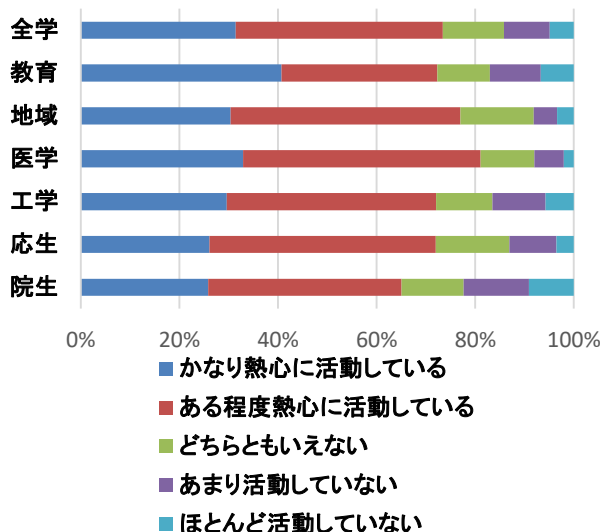
なお、加入の際には、勧誘と称した迷惑行為もあるので、注意が必要である。



(2) サークルでの活動状況

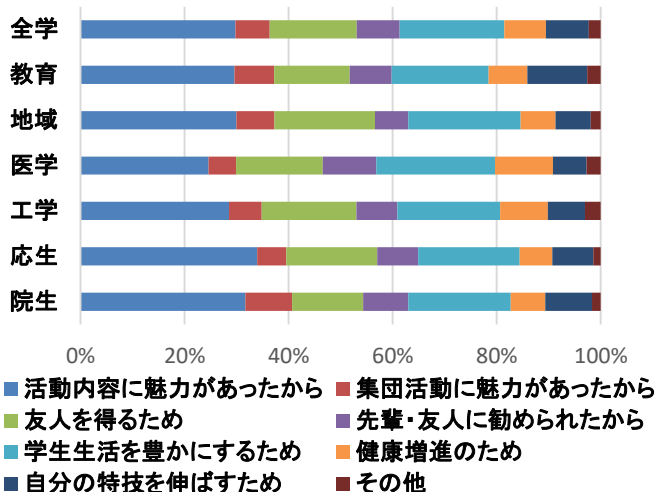
サークルに加入している学生の73.4%【76.4%】がサークル活動に熱心に取り組んでいると回答している。

なお、サークルに加入しているが、ほとんど活動していないのは院生に多い。



(3) サークルに加入した主な理由

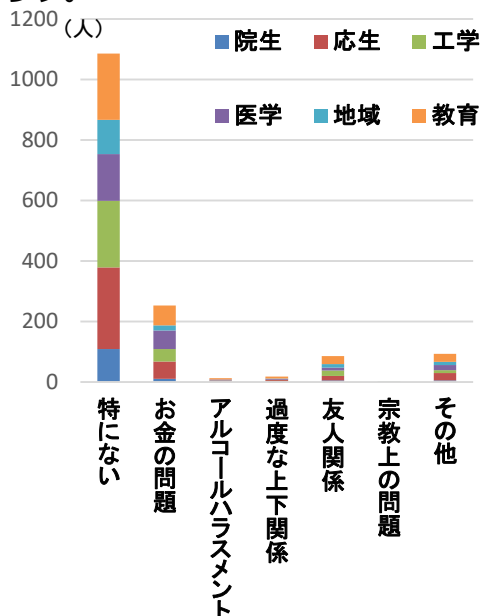
参加学生の約3割【約5割】が「活動内容に魅力があったから」と回答している。



(4) サークルで困っていること

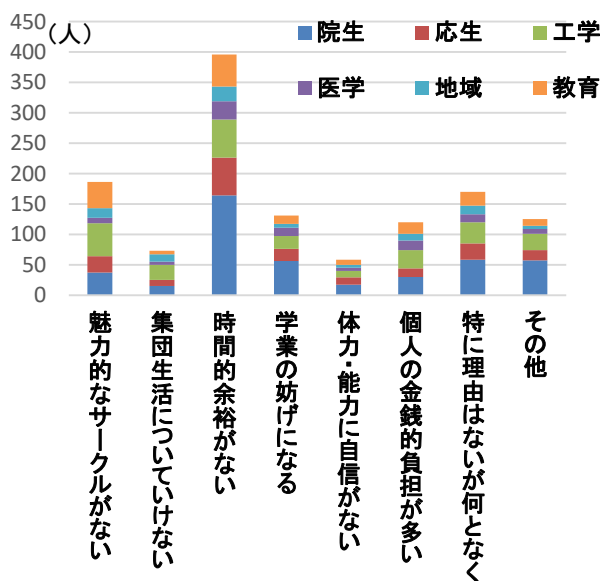
「お金の問題」と回答した学生は16.3%【17.8%】と前回の調査とほぼ同様であった。人生の中でもとても重要な経験をしていると考えれば、多少の出費はやむを得ないだろう。「アルコールハラスメント」と回答した学生は0.8%【1.5%】と0%になっていない。大学も啓発活動を行っているが、実態

はいまだに改善されていないことを示している。「過度の上下関係」は1.2%【1.6%】、「友人関係」は5.5%【5.5%】であったが、これを否定的な結果とのみ理解するわけにはいかない。人間関係力を培う機会となっていることは否めないからである。ただし、相談窓口を設けるなどの対策は必要であろう。



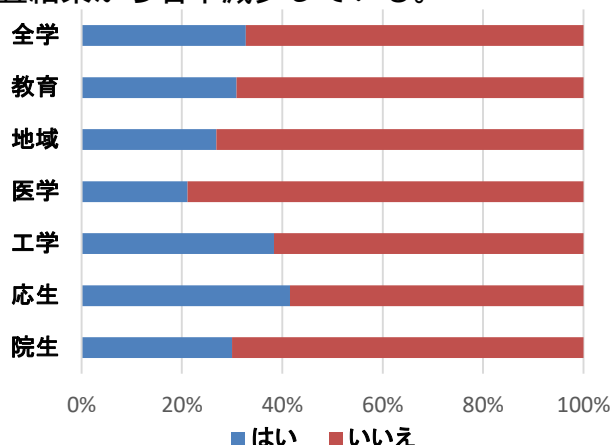
(5) サークルに加入しない理由

「時間的余裕がない」との理由が31.5%【36%】と最も多く、続いて「魅力的なサークルがない」14.8%【15.7%】「特に理由がない」13.5%【19%】と続く。



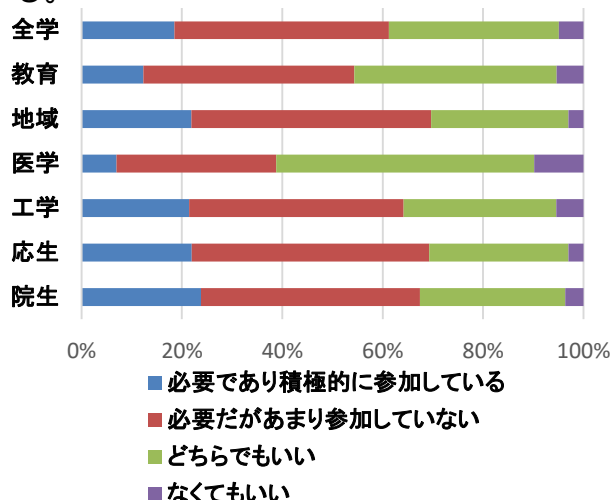
(6) 昨年の岐大祭に参加しましたか

昨年の岐大祭の参加者は32.7%【35.2%】にとどまる。また、前回の調査結果から若干減少している。



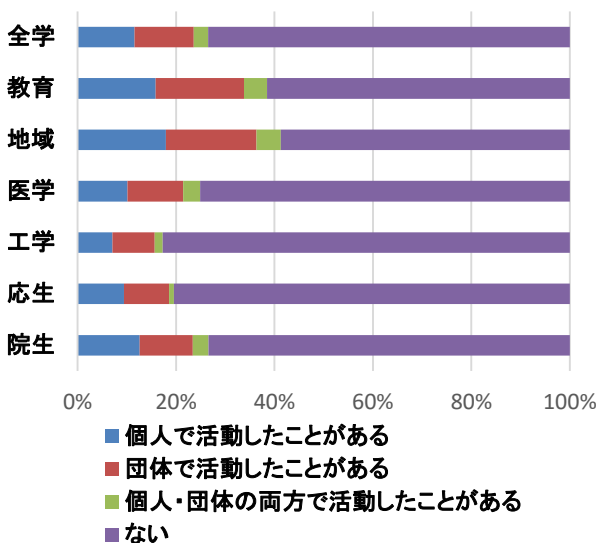
(7) 岐大祭や企業説明会などの学生行事について

学生行事に「必要であり積極的に参加している」学生は全体で18.5%【23.2%】である。しかし、「必要だがあまり参加していない」が42.7%【45.3%】、「どちらでもいい」が33.9%【24.6%】と多い結果となっている。



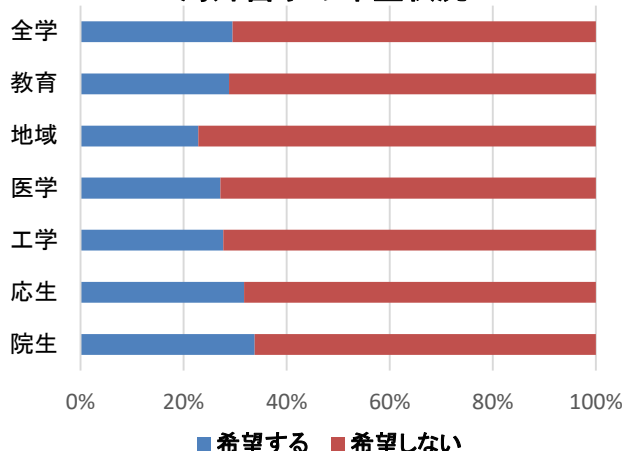
(8) 大学入学後のボランティア経験

大学入学後にボランティア活動をしたことがある学生は、個人、団体合わせて26.5%【24.2%】で、73.5%【74.2%】の学生は活動経験がないと回答した。教育学部と地域科学部が活動経験が高い結果となっている。



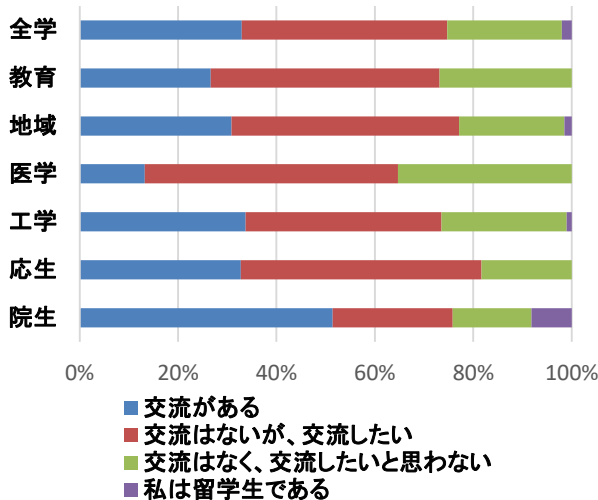
どのような支援を希望するかについては、全学でいずれも「奨学金」が最も多い結果となった。

海外留学の希望状況

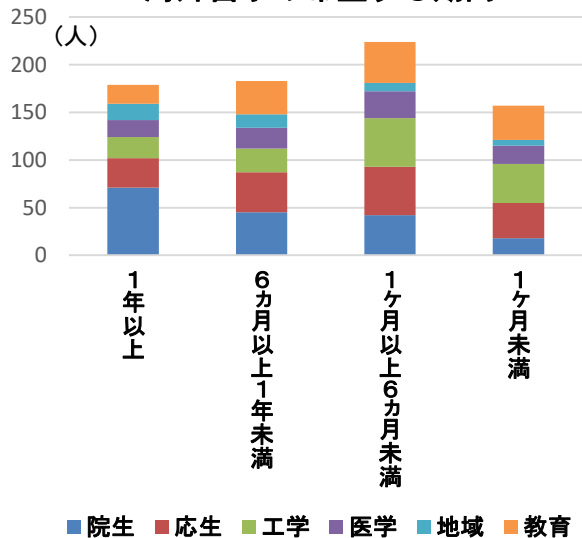


(9) 岐大の留学生と交流はありますか

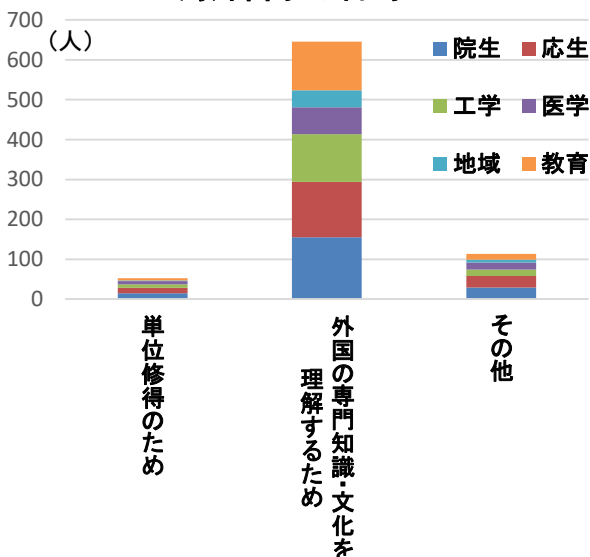
院生は留学生との交流経験者が多く、医学部の経験者は少ない。一方、交流の希望者は医学部が多く、院生は希望者が少ない結果となった。



海外留学の希望する期間



海外留学の目的



(10) 海外留学を希望しますか

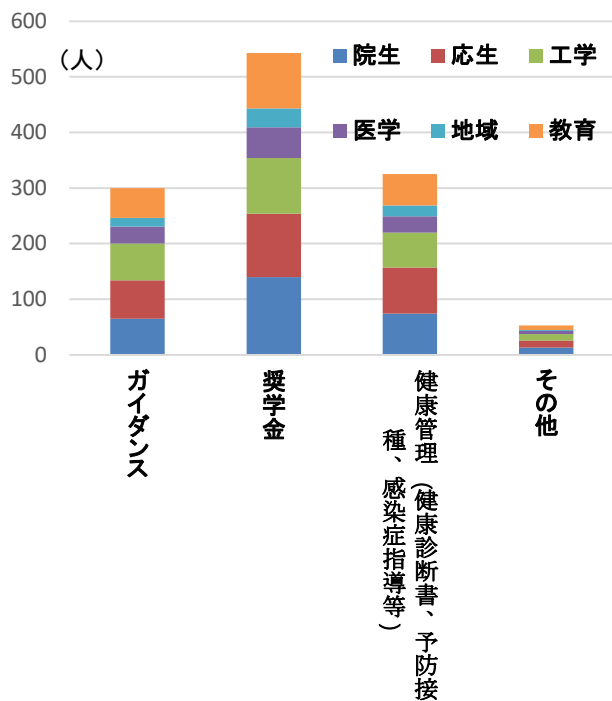
全学では、「希望する」が29.5%、「希望しない」が70.5%という結果となった。

学部でみると、留学を希望する学生の割合が多いのは院生、少ないのは地域科学部である。

院生は、より長い留学期間を希望し、学部生は、地域科学部を除いて1か月～6カ月の期間を希望する傾向にある。

留学の目的は、全体で「外国の専門知識・文化を理解するため」が最も多い。

希望する支援



G 進路と就職

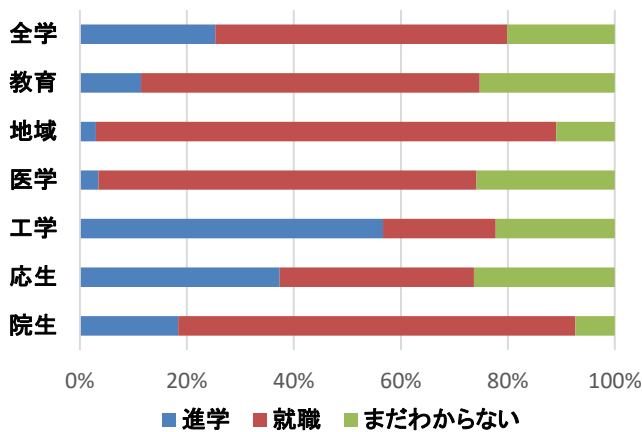
就職希望の学生は5割強

(院希望学生は研究室の研究内容や教育方針を重視)

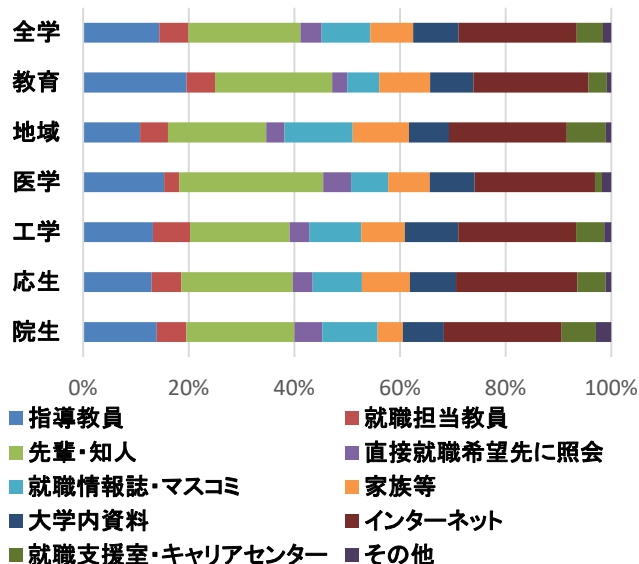
(1) 進路

進路については、学生の「進学希望」が25.3%【22.7%】、「就職希望」が54.5%【57.6%】であった。しかし、「まだわからない」が20.0%【18.0%】いる。今回は不況期で今回は好景気であるが、ほぼ同じ結果となった。進路に関する情報入手手段は、「インターネット」が22.4%【24.4%】、「先輩・知人」が21.2%【16.9%】、「指導教員」が14.5%【12.9%】の順となっている。

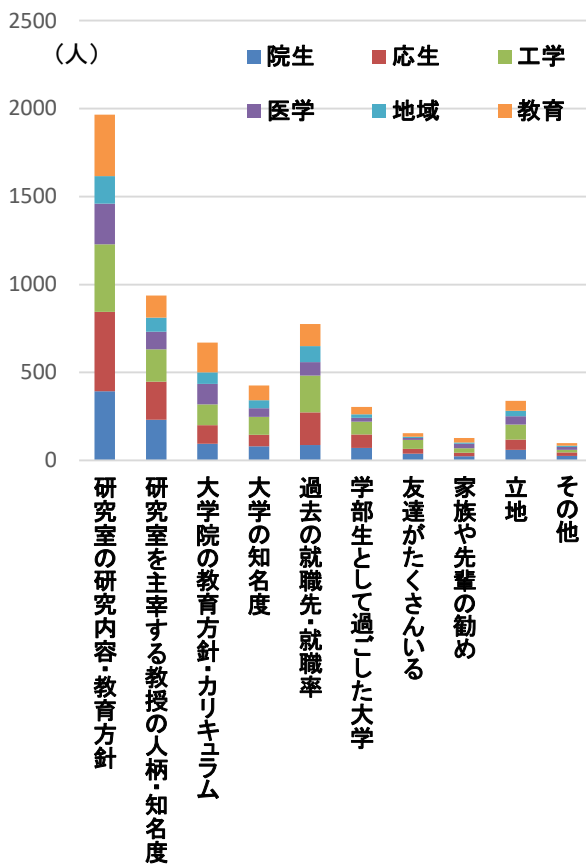
進学か就職か



進路に関する情報入手手段



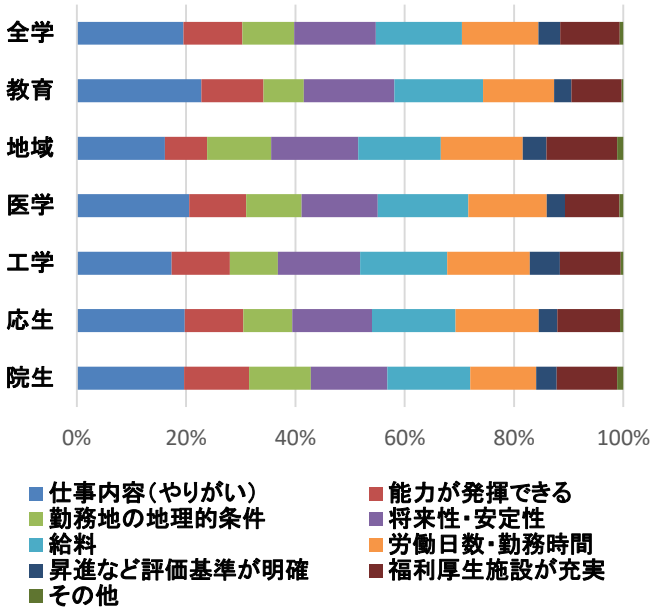
大学院へ進学するとして、進学先の選択で重視することは、「研究室の研究内容・教育方針」が33.9%、「研究室を主宰する教授の人柄、知名度」が16.2%、「過去の就職先・就職率」が13.4%と続いている。



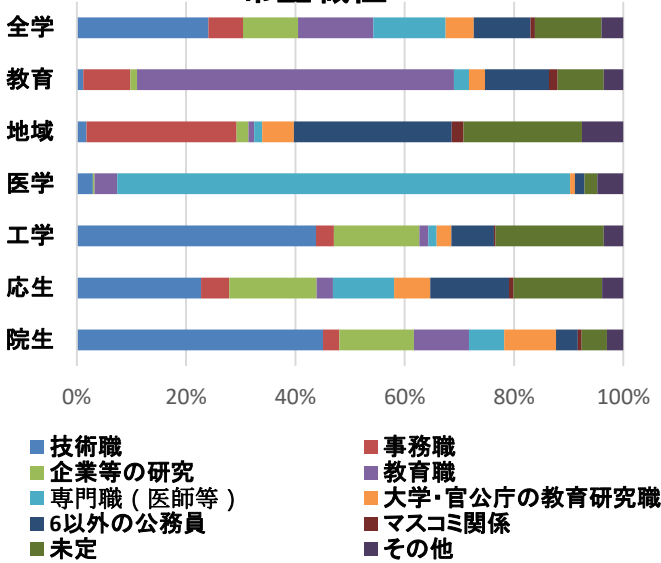
(2) 就職

就職先の選択で重視することは、「仕事内容（やりがい）」が19.5%【23.7%】で最も高い。希望業種は、「未定」と回答した学生は12.2%【11.5%】。就職セミナーに関しては、「参加する」「時間があれば参加する」が合わせて54.7%【61.1%】である。一方、「参加しない」が22.6%【20.2%】で、前回の調査とほぼ同じ結果となった。

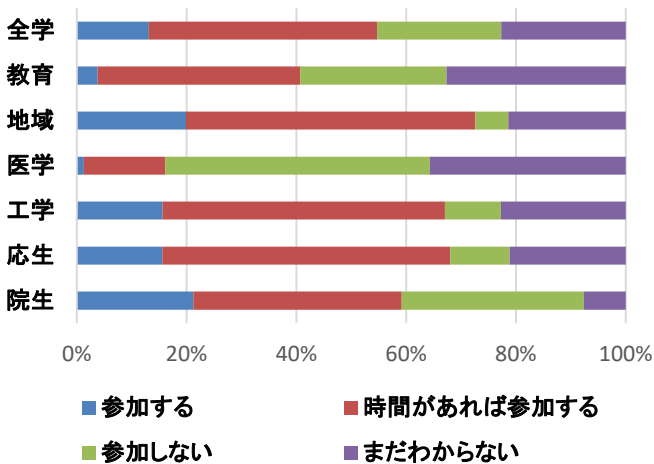
就職先で重視すること



希望職種



本学の就職セミナー



2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

A. 所属について《学部生用》

1【全員】性別はどちらですか。	回答数	割合
1. 男	898 /	46.1%
2. 女	1048 /	53.9%
計	1946	
2【全員】学生身分はどちらですか。	回答数	割合
1. 留学生	16 /	0.8%
2. 留学生以外	1930 /	99.2%
計	1946	
3【全員】所属学部はどこですか。	回答数	在籍数
1. 教育	447 /	1026
2. 地域	201 /	451
3. 医学(医)	171 /	657
4. 医学(看)	146 /	146
5. 工学	480 /	2208
6. 応用	501 /	893
計	1946	5547
4【全員】何年生ですか。	回答数	割合
1. 1年生	568 /	29.2%
2. 2年生	433 /	22.3%
3. 3年生	378 /	19.4%
4. 4年生	496 /	25.5%
5. 5年生	28 /	1.4%
6. 6年生	43 /	2.2%
計	1946	

A. 所属について《院生用》

1【全員】性別はどちらですか。	回答数	割合
1. 男	336 /	67.2%
2. 女	164 /	32.8%
計	500	
2【全員】学生身分はどちらですか。	回答数	割合
1. 留学生	54 /	10.8%
2. 留学生以外	446 /	89.2%
計	500	
3【全員】所属研究科はどこですか。	回答数	在籍数
1. 教育学研究科	30 /	134
2. 地域科学研究科	18 /	46
3. 医学系研究科	28 /	173
4. 工学研究科	29 /	108
5. 応用生物科学研究科	0 /	8
6. 自然科学技術研究科	335 /	916
7. 連合農学研究科	19 /	109
8. 連合獣医学研究科	23 /	110
9. 連合創薬医療情報研究科	18 /	19
計	500	1623
4【全員】課程はどちらですか。	回答数	在籍数
1. 博士前期課程(修士課程)	392 /	1129
2. 博士後期課程(博士課程)	108 /	494
計	500	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

5【全員】何年生ですか。	回答数	割合
1. 1年生	225 /	45.0%
2. 2年生	234 /	46.8%
3. 3年生	31 /	6.2%
4. 4年生	10 /	2.0%
5. 5年生	0	0.0%
6. 6年生	0	0.0%
計	500	

B. 通学・住居について《学部生・院生共通》

6【全員】あなたの主な通学方法はどれですか。	件数 /	割合
1. 徒歩	114 /	4.7%
2. 自転車	985 /	40.3%
3. バイク	54 /	2.2%
4. 電車・バス	757 /	30.9%
5. 自動車	536 /	21.9%
計	2446	

7【全員】通学時間はどれくらいですか。	件数	割合
1. 15分未満	1015 /	41.5%
2. 15分～30分未満	267 /	10.9%
3. 30分～1時間未満	320 /	13.1%
4. 1時間～1時間30分未満	332 /	13.6%
5. 1時間30分～2時間未満	362 /	14.8%
6. 2時間以上	150 /	6.1%
計	2446	

8【全員】通学中に交通事故にあった、または、起こしたことがありますか。	件数	割合
1. ある	130 /	5.3%
2. ない	2316 /	94.7%
計	2446	

9【全員】あなたの住居はどれですか。	件数	割合
1. 自宅	1316 /	53.8%
2. アパート・マンション	848 /	34.7%
3. 学生寮	91 /	3.7%
4. 間借り(下宿)	167 /	6.8%
5. 親戚・知人宅	13 /	0.5%
6. 国際交流会館	7 /	0.3%
7. その他	4 /	0.2%
計	2446	

10【問9で2～7(自宅以外の場所)を選んだ方】1ヶ月の家賃はいくらですか。 (光熱水料を除く)	件数	割合
1. 3万円未満	279 /	24.6%
2. 3万円～4万円未満	377 /	33.2%
3. 4万円～5万円未満	288 /	25.4%
4. 5万円～6万円未満	126 /	11.1%
5. 6万円～7万円未満	44 /	3.9%
6. 7万円～8万円未満	12 /	1.1%
7. 8万円以上	10 /	0.9%
計	1136	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

11 【問9で 2～7 を選んだ方】現在の住居に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	566 /	49.0%
2. やや満足している	396 /	34.3%
3. どちらともいえない	97 /	8.4%
4. やや不満足である	74 /	6.4%
5. 不満足である	23 /	2.0%
計	1156	

12 【問11で 4～5 を選んだ方】その理由はどれですか。 〈複数回答可〉	件数	割合
1. 狭い	100 /	26.7%
2. 家賃が高い	41 /	10.9%
3. 通学に不便	31 /	8.3%
4. 日常生活に不便	72 /	19.2%
5. まわりの環境がよくない	72 /	19.2%
6. その他	59 /	15.7%
計	375	

C. 収入・支出について《学部生・院生共通》

13 【全員】あなたの1ヶ月の平均必要生活経費はいくらぐらいですか。(授業料は除く)	件数	割合
1. 3万円未満	765 /	31.3%
2. 3万円～5万円未満	916 /	37.4%
3. 5万円～10万円未満	591 /	24.2%
4. 10万円～15万円未満	129 /	5.3%
5. 15万円～20万円未満	22 /	0.9%
6. 20万円～25万円未満	10 /	0.4%
7. 25万円～30万円未満	2 /	0.1%
8. 30万円以上	11 /	0.4%
計	2446	

14 【全員】1ヶ月の平均の食費はどれぐらいですか。	件数	割合
1. 2万円未満	1207 /	49.3%
2. 2万円～3万円未満	824 /	33.7%
3. 3万円～4万円未満	304 /	12.4%
4. 4万円～5万円未満	76 /	3.1%
5. 5万円～7万円未満	23 /	0.9%
6. 7万円以上	12 /	0.5%
計	2446	

15 【全員】現在の経済状況を選んでください。	件数	割合
1. ゆとりがある	327 /	13.4%
2. 普通(あまり不自由を感じない)	1324 /	54.1%
3. やや苦しい(奨学金または軽度のアルバイトで充足できる)	552 /	22.6%
4. 大変苦しい(定期的なアルバイトが必要である)	243 /	9.9%
計	2446	

16 【全員】奨学金を受けていますか。	件数	割合
1. 現在受けている	675 /	27.6%
2. 現在受けていないが、受けたい	234 /	9.6%
3. 現在受けていないし、希望もしない	1537 /	62.8%
計	2446	

17 【全員】授業料免除を希望しますか。	件数	割合
1. 現在免除されており、次回も申請する	316 /	12.9%
2. 現在免除されているが、次は希望しない	18 /	0.7%
3. 現在免除されていないが、次回は希望する	350 /	14.3%
4. 現在免除されていないし、希望もしない	1762 /	72.0%
計	2446	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

18【全員】現在アルバイトをしていますか。1週間の平均従事日数は何日ですか。	件数	割合
1. アルバイトをしていない	655 /	26.8%
2. 1日	291 /	11.9%
3. 2日	595 /	24.3%
4. 3日	566 /	23.1%
5. 4日	249 /	10.2%
6. 5日以上	90 /	3.7%
計	2446	
19【問18で 2～6 を選んだ方】1週間の従事時間は合計何時間ですか。	件数	割合
1. 5時間未満	346 /	19.4%
2. 5～10時間未満	545 /	30.5%
3. 10～15時間未満	419 /	23.4%
4. 15～20時間未満	299 /	16.7%
5. 20～25時間未満	124 /	6.9%
6. 25時間以上	54 /	3.0%
計	1787	
20【問18で 2～6 を選んだ方】アルバイトによって勉学に支障をきたしていませんか。	件数	割合
1. 支障をきたしていない	1565 /	88.6%
2. 支障をきたしている	202 /	11.4%
計	1767	
21【問18で 2～6 を選んだ方】アルバイトの主な目的は何ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 生活費や学費のため	956 /	24.3%
2. レジャーや旅行のため	830 /	21.1%
3. 娯楽・嗜好品等のため	1065 /	27.1%
4. 高額商品購入のため	142 /	3.6%
5. 課外活動費のため	236 /	6.0%
6. 社会経験のため	633 /	16.1%
7. その他	72 /	1.8%
計	3934	
22【問18で 2～6 を選んだ方】どのようなアルバイトをしていますか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 家庭教師・塾講師等	692 /	28.6%
2. 会場設営・撤収、搬入搬出	39 /	1.6%
3. 受付・接客	393 /	16.3%
4. イベントスタッフ補助	84 /	3.5%
5. 商品販売	251 /	10.4%
6. 商品等整理・包装	103 /	4.3%
7. コンビニ・飲食店等手伝い	570 /	23.6%
8. 駐車場整理員	4 /	0.2%
9. 学内雇用(SA・チューターなど)	95 /	3.9%
10. 引越スタッフ	8 /	0.3%
11. その他	179 /	7.4%
計	2418	
23【問18で 2～6 を選んだ方】アルバイトによる平均月収はいくらぐらいですか。	件数	割合
1. 3万円未満	468 /	26.9%
2. 3～5万円未満	663 /	38.2%
3. 5～7万円未満	388 /	22.3%
4. 7～10万円未満	175 /	10.1%
5. 10～15万円未満	28 /	1.6%
6. 15万円以上	15 /	0.9%
計	1737	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

24【問18で2~6を選んだ方】アルバイトでトラブルを経験したことがありますか。どのようなトラブルですか。
〈複数回答可〉

	件数	割合
1. ない	1463 /	80.3%
2. 給料の不払い	40 /	2.2%
3. 契約より給料が低かった	29 /	1.6%
4. 客とのトラブル	113 /	6.2%
5. 解雇	10 /	0.5%
6. 雇用者との意見の不一致	87 /	4.8%
7. 事故・ケガ	39 /	2.1%
8. その他	41 /	2.3%
計	1822	

D. 学生生活について《学部生・院生共通》

25【全員】昼食はどこを利用していますか。
〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 生協(第1・2食堂、医学部食堂、ルポ、売店)	1729 /	43.6%
2. コンビニ(弁当等購入)	582 /	14.7%
3. 弁当持参	889 /	22.4%
4. 自宅	377 /	9.5%
5. 昼食を食べない	102 /	2.6%
6. 学外にある飲食店	214 /	5.4%
7. その他	71 /	1.8%
計	3964	

26【全員】学生食堂について気になることはどれですか。
〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 特にない	559 /	13.8%
2. メニューが少ない	646 /	16.0%
3. 価格が高い	907 /	22.4%
4. 価格に対する質	385 /	9.5%
5. 価格に対する量	341 /	8.4%
6. 昼食時の混雑	1133 /	28.0%
7. その他	70 /	1.7%
計	4041	

27【全員】あなたは、これまで大学生生活において迷惑行為を受けたことがありますか。
〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 受けたことがある	264 /	10.8%
2. 受けたことはない	2182 /	89.2%
計	2446	

28【問27で1を選んだ方】具体的に記入ください。
〈複数回答可〉

	件数	割合
1. セクシャル・ハラスメントを受けた	15 /	3.6%
2. アカデミック・ハラスメントを受けた	42 /	10.0%
3. パワー・ハラスメントを受けた	41 /	9.8%
4. アルコール・ハラスメントを受けた	11 /	2.6%
5. 詐欺商法(悪徳商法、クレジットカード被害など)	7 /	1.7%
6. いたずら電話を受けた	7 /	1.7%
7. 宗教活動	35	8.3%
8. サークル活動	15	3.6%
9. 盗難	55	13.1%
10. 受動喫煙	66	15.7%
11. メール・SNS等による嫌がらせ	15	3.6%
12. ルール・マナー違反	72	17.1%
13. 盗難・盗撮	5	1.2%
14. その他	34	8.1%
計	420	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

29【問28で1～4を選んだ方】誰に相談しましたか。		
〈複数回答可〉		
	件数	割合
1. 友人・知人	59 /	36.4%
2. 家族	33 /	20.4%
3. ハラスメント相談員	2 /	1.2%
4. 教員	15 /	9.3%
5. 保険管理センター学生相談	9 /	5.6%
6. 誰にも相談しない	40 /	24.7%
7. その他	4 /	2.5%
計	162	
30【問28で5～14を選んだ方】誰に相談しましたか。		
〈複数回答可〉		
	件数	割合
1. 友人・知人	90 /	35.0%
2. 家族	52 /	20.2%
3. ハラスメント相談員	1 /	0.4%
4. 教員	10 /	3.9%
5. 保険管理センター学生相談	6 /	2.3%
6. 誰にも相談しない	90 /	35.0%
7. その他	8 /	3.1%
計	257	
31【全員】大学の主な利用施設で気になることがありますか。		
〈複数回答可〉		
	件数	割合
1. 特にない	802 /	16.8%
2. 冷暖房が不十分	469 /	9.8%
3. 机・椅子がよくない	512 /	10.7%
4. 教室の設備(音響・証明・映像等)が不十分	272 /	5.7%
5. 建物内が古い	691 /	14.5%
6. 廊下・階段が暗い	266 /	5.6%
7. トイレに不便を感じる	233 /	4.9%
8. 更衣室が不十分	195 /	4.1%
9. ロッカーが不十分	319 /	6.7%
10. 駐輪場が少ない	381 /	8.0%
11. 駐車場が少ない	405 /	8.5%
12. 植栽の手入れが不十分	112 /	2.3%
13. その他	113 /	2.4%
計	4770	
32【全員】大学事務室の対応に満足していますか。		
	件数	割合
1. 満足している	529 /	21.6%
2. やや満足している	681 /	27.8%
3. どちらともいえない	895 /	36.6%
4. やや不満である	239 /	9.8%
5. 不満である	102 /	4.2%
計	2446	
33【全員】あなたは、大学生活で何を第1に考えていますか。		
	件数	割合
1. 勉強や研究	1561 /	63.8%
2. 資格・免許等の取得	150 /	6.1%
3. 部活・サークル活動	102 /	4.2%
4. 趣味・娯楽	196 /	8.0%
5. 豊かな人間関係を結ぶこと	371 /	15.2%
6. アルバイト	8 /	0.3%
7. その他	58 /	2.4%
計	2446	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

34【全員】大学のICT環境(情報・通信技術環境)に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	322 /	13.2%
2. やや満足している	642 /	26.2%
3. どちらともいえない	711 /	29.1%
4. やや不満である	535 /	21.9%
5. 不満である	236 /	9.6%
計	2446	
35【問34で4~5を選んだ方】満足していないのは、どの環境ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 学内LAN	716 /	28.4%
2. 情報コンセント	64 /	2.5%
3. オープンLAN	727 /	28.9%
4. 利用可能なパソコン台数	134 /	5.3%
5. 大学ホームページ	84 /	3.3%
6. AIMSの使いやすさ	441 /	17.5%
7. 学務情報システム(Campus-G)の使いやすさ	288 /	11.4%
8. その他	63 /	2.5%
計	2517	
36【全員】あなたは、岐阜大学が「キャンパス内全面禁煙」を宣言していることを知っていますか	件数	割合
1. 知っている	2325 /	95.1%
2. 知らない	121 /	4.9%
計	2446	

E. 修学状況について《学部生用》

37【全員】あなたが本学を選んだ主な理由は何ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 自宅から通学しやすいから	619 /	15.3%
2. 希望する学部・学科があったから	1258 /	31.2%
3. 高校の進路指導による	224 /	5.6%
4. 親や親戚に勧められたから	177 /	4.4%
5. 先輩や友人に勧められて	33 /	0.8%
6. 就職等将来を考慮して	334 /	8.3%
7. 国立大学だから	1230 /	30.5%
8. その他	161 /	4.0%
計	4036	
38【全員】所属している学部・学科に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	859 /	44.1%
2. やや満足している	712 /	36.6%
3. どちらともいえない	260 /	13.4%
4. やや不満である	75 /	3.9%
5. 不満である	40 /	2.1%
計	1946	
39【全員】これまでの単位取得状況はどうですか。	件数	割合
1. 全部取得できた	1281 /	65.8%
2. ほとんど取得できた	596 /	30.6%
3. 半分程度取得できた	29 /	1.5%
4. あまり取得できなかった	34 /	1.7%
5. 全く取得できなかった	6 /	0.3%
計	1946	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

40【全員】授業(実習等を含む)への出席状況はどうか。	件数	割合
1. 全部出席している	837 /	43.0%
2. ほとんど出席している	1059 /	54.4%
3. 半分程度出席している	37 /	1.9%
4. ほとんど出席していない	8 /	0.4%
5. 全く出席していない	5 /	0.3%
計	1946	
41【問40で 3～5 を選んだ方】授業に出席しない理由は何ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 勉学の意欲がわからない	41 /	25.5%
2. 授業に魅力がない	45 /	28.0%
3. 授業が理解できない	19 /	11.8%
4. その他	56 /	34.8%
計	161	
42【全員】受講している授業に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している授業が多い	367 /	18.9%
2. 満足している授業がやや多い	953 /	49.0%
3. どちらともいえない	477 /	24.5%
4. 満足している授業がやや少ない	115 /	5.9%
5. 不満足な授業が多い	34 /	1.7%
計	1946	
43【問46で 4～5 を選んだ方】授業が満足できない理由は何ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 授業内容が難しすぎて理解できない	70 /	13.5%
2. 授業内容に興味を持ってない	145 /	27.9%
3. 教員の教え方に工夫が足りない	152 /	29.2%
4. 受講者が多すぎる	15 /	2.9%
5. 試験・レポートが多すぎる	69 /	13.3%
6. 単位認定が厳しすぎる	49 /	9.4%
7. その他	20 /	3.8%
計	520	
44【全員】単位修得に関わる自主的学習に1日平均何時間かけていますか。 試験のための勉強、レポート作成、プレゼン準備、予習・復習等を含めます。	件数	割合
1. 1時間未満	535 /	27.5%
2. 1～2時間未満	818 /	42.0%
3. 2～3時間未満	375 /	19.3%
4. 3～4時間未満	115 /	5.9%
5. 4～5時間未満	33 /	1.7%
6. 5時間以上	70 /	3.6%
計	1946	
45【全員】オフィスアワー(学習相談時間)を利用したことがありますか。	件数	割合
1. 利用したことがある	133 /	6.8%
2. オフィスアワーがあることは知っているが、利用したことはない	545 /	28.0%
3. オフィスアワーについて知らない	1268 /	65.2%
計	1946	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

46 【問45で2を選んだ方】オフィスアワーを利用しない主な理由は何ですか。 〈複数回答可〉	件数	割合
1. 講義内容を充分理解できるのでその必要がない	195 /	24.1%
2. オフィスアワーの時間が短く利用しにくい	32 /	4.0%
3. オフィスアワーの時間が明示されていない	62 /	7.7%
4. オフィスアワーの時間以外にいつでも訪問できる	57 /	7.1%
5. 教員に相談するのが面倒である	173 /	21.4%
6. どのように質問してよいかわからない	224 /	27.7%
7. その他	65 /	8.0%
計	808	
47 【全員】授業目的・内容、到達目標、授業日程と事前準備、成績評価の方法、履修の留意点などを授業開講前にシラバスなどで確認して理解できましたか。	件数	割合
1. 理解できた	1456 /	74.8%
2. 理解できなかった内容がある	266 /	13.7%
3. シラバスを確認しなかった	224 /	11.5%
計	1946	
48 【問47で2を選んだ方】実際のシラバスなどを確認した上で、理解できなかったのは、どの内容ですか。〈複数回答可〉	件数	割合
1. 授業概要・内容、到達目標	117 /	27.7%
2. 授業計画と事前準備	86 /	20.3%
3. 成績評価の方法	126 /	29.8%
4. 履修の留意点	54 /	12.8%
5. 授業日程	40 /	9.5%
計	423	
49 【全員】シラバスなどの変更等があった場合の注意はきちんとされていましたか。	件数	割合
1. 十分な説明があった	458 /	23.5%
2. 簡単な説明があった	902 /	46.4%
3. 説明はなかった	184 /	9.5%
4. シラバスの変更等がなかった	402 /	20.7%
計	1946	
50 【全員】図書館について気になることはどれですか。 〈複数回答可〉	件数	割合
1. 特にない	1078 /	41.7%
2. 蔵書の種類や数が不十分	321 /	12.4%
3. 貸出・返却が容易でない	33 /	1.3%
4. 館内の案内が不十分	70 /	2.7%
5. 図書館員に尋ねにくい	87 /	3.4%
6. コピーが取りにくい	172 /	6.6%
7. 開館時間が短い	339 /	13.1%
8. 資料の検索が容易でない	116 /	4.5%
9. 学習スペースが不十分	253 /	9.8%
10. その他	118 /	4.6%
計	2587	
51 【全員】大学の自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	539 /	27.7%
2. やや満足している	784 /	40.3%
3. どちらともいえない	460 /	23.6%
4. やや不満である	122 /	6.3%
5. 不満である	41 /	2.1%
計	1946	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

52 【問51で4～5を選んだ方】満足していないのは、どの環境ですか。 〈複数回答可〉	件数	割合
1. 情報機器室	45 /	11.8%
2. 教育設備の授業時間外使用	108 /	28.3%
3. 自習室	185 /	48.4%
4. グループ討議室	25 /	6.5%
5. その他	19 /	5.0%
計	382	
53 【全員】アカデミック・コアを利用したことがありますか。	件数	割合
1. ある	1375 /	70.7%
2. ない	571 /	29.3%
計	1946	
54 【問53で1を選んだ方】アカデミック・コアの自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	484 /	35.4%
2. やや満足している	607 /	44.3%
3. どちらともいえない	227 /	16.6%
4. やや不満である	42 /	3.1%
5. 不満である	9 /	0.7%
計	1369	
55 【全員】サテライトキャンパスを利用したことがありますか。	件数	割合
1. ある	362 /	18.6%
2. ない	1584 /	81.4%
計	1946	
56 【問55で1を選んだ方】サテライトキャンパスの自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	91 /	23.4%
2. やや満足している	108 /	27.8%
3. どちらともいえない	168 /	43.2%
4. やや不満である	9 /	2.3%
5. 不満である	13 /	3.3%
計	389	
57 【全員】履修ガイダンスに参加しましたか。	件数	割合
1. 参加した	1665 /	85.6%
2. 参加しなかった	281 /	14.4%
計	1946	
58 【問57で1を選んだ方】履修ガイダンスの内容は理解できましたか。	件数	割合
1. よく理解できた	1364 /	83.6%
2. 一部理解できなかった	240 /	14.7%
3. 理解できなかった	27 /	1.7%
計	1631	
59 【全員】貴方が所属する学部の教育研究上の目的を知っていますか。	件数	割合
1. 知っている	834 /	42.9%
2. 知らない	1112 /	57.1%
計	1946	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

60 【問59で1を選んだ方】教育研究上の目的をどこで知りましたか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. オープンキャンパス	213 /	13.8%
2. 履修ガイダンス	305 /	19.8%
3. 大学HP・パンフレット・冊子	436 /	28.3%
4. 初年次セミナー	179 /	11.6%
5. 教員	178 /	11.6%
6. 授業	114 /	7.4%
7. シラバス	93 /	6.0%
8. 先輩・友人	23 /	1.5%
計	1541	

E. 修学状況について《院生用》

61 【全員】大学院を受験した理由は何ですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 学部で学んだ学問をさらに探究したいから	303 /	32.4%
2. 学部で学んだ学問とは違った分野の学問を学びたいから	54 /	5.8%
3. 希望の職種に就職するために不可欠な、より深い知識を得るため	148 /	15.8%
4. 就職する意志がなかったから	76 /	8.1%
5. 就職できそうになかったから	26 /	2.8%
6. 大学教員を目指しているから	35 /	3.7%
7. 研究所やシンクタンクを目指しているから	38 /	4.1%
8. 現在の仕事においてスキルアップを図るため	71 /	7.6%
9. 学位を取得するため	156 /	16.7%
10. その他	28 /	3.0%
計	935	

62 【全員】大学院進学にあたり、岐阜大学大学院を選んだ主な理由は何ですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 自分の志望する専門分野があったから	253 /	27.8%
2. 教わりたい指導教員がいたから	187 /	20.5%
3. 環境・設備が優れていると思ったから	56 /	6.1%
4. 社会的評価が高いから	18 /	2.0%
5. 希望した大学院へ入れなかったから	7 /	0.8%
6. 教員の勧め	55 /	6.0%
7. 親・先輩・知人の勧め	37 /	4.1%
8. 国立大学だから	135 /	14.8%
9. 地元の大学院だから	91 /	10.0%
10. その他	72 /	7.9%
計	911	

63 【全員】入学までのキャリアはどれが該当しますか。

	件数	割合
1. 学部卒業後そのまま入学	363 /	72.6%
2. 大学院修了後そのまま入学	38 /	7.6%
3. 入学時に就いていた仕事を続けたまま入学	66 /	13.2%
4. 入学時に就いていた仕事を休職して入学	5 /	1.0%
5. 入学時に就いていた仕事を退職して入学	13 /	2.6%
6. 定年退職後に入学	2 /	0.4%
7. その他	13 /	2.6%
計	500	

64 【全員】現在あなたが受けている研究指導方法に満足していますか。

	件数	割合
1. 満足している	248 /	49.6%
2. やや満足している	148 /	29.6%
3. どちらともいえない	63 /	12.6%
4. やや不満である	19 /	3.8%
5. 不満である	22 /	4.4%
計	500	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

65 【全員】現在の授業・研究環境に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	199 /	39.8%
2. やや満足している	180 /	36.0%
3. どちらともいえない	66 /	13.2%
4. やや不満である	33 /	6.6%
5. 不満である	22 /	4.4%
計	500	
66 【全員】インターンシップに参加しましたか。	件数	割合
1. 参加した	265 /	53.0%
2. 参加していない	235 /	47.0%
計	500	
67 【インターンシップに参加した方】参加した感想はどれが該当しますか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 有意義な体験ができた	185 /	45.9%
2. 将来の職種を選ぶのに参考になった	174 /	43.2%
3. 予想していたよりも仕事内容が良かった	12 /	3.0%
4. あまり有意義ではなかった	16 /	4.0%
5. 単位取得のため我慢した	9 /	2.2%
6. その他	7 /	1.7%
計	403	
68 【全員】TAを担当したことがありますか。	件数	割合
1. ある	344 /	68.8%
2. ない	156 /	31.2%
計	500	
69 【TAを担当した方】TAを担当した感想はどれが該当しますか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 担当した科目の理解が深まった	135 /	20.9%
2. 教える立場の勉強になった	213 /	32.9%
3. 年齢が近く質問しやすい環境ができる	51 /	7.9%
4. 上下の学年のつながりを増やす機会になる	83 /	12.8%
5. 担当科目の準備に追われた	58 /	9.0%
6. 給料の割に負担が大きかった	91 /	14.1%
7. その他	16 /	2.5%
計	647	
70 【博士後期課程の方】RAを担当したことがありますか。	件数	割合
1. ある	46 /	42.6%
2. ない	62 /	57.4%
計	108	
71 【RAを担当した方】RAを担当した感想はどれが該当しますか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 担当した内容の理解が深まった	31 /	40.3%
2. 給料がもらえて助かった	38 /	49.4%
3. 研究を進める上で負担になった	6 /	7.8%
4. その他	2 /	2.6%
計	77	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

72【全員】1日平均何時間ぐらい研究に費やしていますか。	件数	割合
1. 2時間未満	67 /	13.4%
2. 2～4時間未満	89 /	17.8%
3. 4～6時間未満	105 /	21.0%
4. 6～8時間未満	119 /	23.8%
5. 8～10時間未満	67 /	13.4%
6. 10時間以上	53 /	10.6%
計	500	
73【全員】授業目的・内容。到達目標、授業日程と事前準備、成績評価の方法履修の留意点などを授業開講前にシラバスなどで確認して理解できましたか。	件数	割合
1. できた	327 /	65.4%
2. できなかった内容がある	101 /	20.2%
3. シラバスを確認しなかった	72 /	14.4%
計	500	
74【問73で2を選んだ方】実際のシラバスなどを確認した上で、理解できなかったのは、どの内容ですか。〈複数回答可〉	件数	割合
1. 授業概要・内容・到達目標	56 /	25.8%
2. 授業計画と事前準備	50 /	23.0%
3. 成績評価の方法	38 /	17.5%
4. 履修の留意点	35 /	16.1%
5. 授業日程	38 /	17.5%
計	217	
75【全員】シラバスなどの変更等があった場合の注意はきちんとされていましたか。	件数	割合
1. 十分な説明があった	106 /	21.2%
2. 簡単な説明があった	237 /	47.4%
3. 説明はなかった	45 /	9.0%
4. シラバスの変更等がなかった	112 /	22.4%
計	500	
76【全員】図書館について気になることはどれですか。〈複数回答可〉	件数	割合
1. 特にない	309 /	49.0%
2. 蔵書の種類や数が不十分	86 /	13.7%
3. 貸出・返却が容易でない	10 /	1.6%
4. 館内の案内が不十分	15 /	2.4%
5. 図書館員に尋ねにくい	19 /	3.0%
6. コピーが取りにくい	47 /	7.5%
7. 開館時間が短い	56 /	8.9%
8. 資料の検索が容易でない	38 /	6.0%
9. 学習スペースが不十分	24 /	3.8%
10. その他	26 /	4.1%
計	630	
77【全員】大学の自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	174 /	34.8%
2. やや満足している	142 /	28.4%
3. どちらともいえない	142 /	28.4%
4. やや不満である	27 /	5.4%
5. 不満である	15 /	3.0%
計	500	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

78 【問77で4～5を選んだ方】満足していないのは、どの環境ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 情報機器室	20 /	17.4%
2. 教育設備の授業時間外使用	31 /	27.0%
3. 自習室	39 /	33.9%
4. グループ討議室	11 /	9.6%
5. その他	14 /	12.2%
計	115	
79 【全員】アカデミック・コアを利用したことがありますか。	件数	割合
1. ある	231 /	46.2%
2. ない	269 /	53.8%
計	500	
80 【問79で1を選んだ方】アカデミック・コアの自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	94 /	39.8%
2. やや満足している	87 /	36.9%
3. どちらともいえない	41 /	17.4%
4. やや不満である	12 /	5.1%
5. 不満である	2 /	0.8%
計	236	
81 【全員】サテライトキャンパスを利用したことがありますか。	件数	割合
1. ある	147 /	29.4%
2. ない	353 /	70.6%
計	500	
82 【問81で1を選んだ方】サテライトキャンパスの自主的学習環境の整備状況に満足していますか。	件数	割合
1. 満足している	49 /	32.2%
2. やや満足している	30 /	19.7%
3. どちらともいえない	57 /	37.5%
4. やや不満である	11 /	7.2%
5. 不満である	5 /	3.3%
計	152	
83 【全員】履修ガイダンスに参加しましたか。	件数	割合
1. 参加した	414 /	82.8%
2. 参加しなかった	86 /	17.2%
計	500	
84 【問83で1を選んだ方】ガイダンスの内容は理解できましたか。	件数	割合
1. よく理解できた	313 /	78.3%
2. 一部理解できなかった	83 /	20.8%
3. 理解できなかった	4 /	1.0%
計	400	
85 【全員】貴方が所属する大学院の教育研究上の目的を知っていますか。	件数	割合
1. 知っている	216 /	43.2%
2. 知らない	284 /	56.8%
計	500	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

86 【問85で1を選んだ方】教育研究上の目的をどこで知りましたか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. オープンキャンパス	13 /	3.5%
2. 履修ガイダンス	100 /	27.0%
3. 大学HP・パンフレット・冊子	110 /	29.7%
4. 初年次セミナー	16 /	4.3%
5. 教員	65 /	17.6%
6. 授業	21 /	5.7%
7. シラバス	29 /	7.8%
8. 先輩・友人	16 /	4.3%
計	370	

F. 課外活動について《学部生・院生共通》

87 【全員】学内外のサークル(以下同好会を含む)に加入していますか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 学内の文化系サークルに加入している	746 /	28.7%
2. 学内の体育系サークルに加入している	845 /	32.5%
3. 学外の文化系サークルに加入している	33 /	1.3%
4. 学外の体育系サークルに加入している	28 /	1.1%
5. 以前加入していたが、現在は加入していない	468 /	18.0%
6. 加入したことがない	479 /	18.4%
計	2599	

88 【問87(複数回答)で1~4を選んだ方】サークルでの活動状況はどうですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. かなり熱心に活動している	482 /	31.4%
2. ある程度熱心に活動している	644 /	42.0%
3. どちらともいえない	191 /	12.5%
4. あまり活動していない	142 /	9.3%
5. ほとんど活動していない	75 /	4.9%
計	1534	

89 【問87(複数回答)で1~4を選んだ方】サークルに加入した主な理由は何ですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 活動内容に魅力があったから	1058 /	29.8%
2. 集団活動に魅力があったから	234 /	6.6%
3. 友人を得るため	594 /	16.7%
4. 先輩・友人に勧められたから	292 /	8.2%
5. 学生生活を豊かにするため	716 /	20.2%
6. 健康増進のため	283 /	8.0%
7. 自分の特技を伸ばすため	294 /	8.3%
8. その他	81 /	2.3%
計	3552	

90 【問87(複数回答)で1~4を選んだ方】サークルで困っていることはありますか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 特にない	1085 /	70.0%
2. お金の問題	253 /	16.3%
3. アルコールハラスメント	13 /	0.8%
4. 過度な上下関係	18 /	1.2%
5. 友人関係	86 /	5.5%
6. 宗教上の問題	2 /	0.1%
7. その他	93 /	6.0%
計	1550	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

91【問87(複数回答)で5~6を選んだ方】サークルに加入していない主な理由は何ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 魅力的なサークルがない	186 /	14.8%
2. 集団生活についていけない	73 /	5.8%
3. 時間的余裕がない	396 /	31.5%
4. 学業の妨げになる	131 /	10.4%
5. 体力・能力に自信がない	58 /	4.6%
6. 個人の金銭的負担が多い	120 /	9.5%
7. 特に理由はないが何となく	170 /	13.5%
8. その他	125 /	9.9%
計	1259	
92【全員】昨年の岐大祭に参加しましたか。	件数	割合
1. はい	801 /	32.7%
2. いいえ	1645 /	67.3%
計	2446	
93【全員】岐大祭や企業説明会などの学生行事についてどのように考えていますか。	件数	割合
1. 必要であり積極的に参加している	453 /	18.5%
2. 必要だがあまり参加していない	1045 /	42.7%
3. どちらでもいい	828 /	33.9%
4. なくてもいい	120 /	4.9%
計	2446	
94【全員】大学入学後にボランティア活動をしたことがありますか。	件数	割合
1. 個人で活動したことがある	283 /	11.6%
2. 団体に活動したことがある	294 /	12.0%
3. 個人・団体の両方で活動したことがある	71 /	2.9%
4. ない	1798 /	73.5%
計	2446	
95【全員】岐阜大学へ来ている留学生と交流がありますか。	件数	割合
1. 交流がある	806 /	33.0%
2. 交流はないが、交流したい	1022 /	41.8%
3. 交流はなく、交流したいと思わない	569 /	23.3%
4. 私は留学生である	49 /	2.0%
計	2446	
96【全員】海外留学を希望しますか。	件数	割合
1. 希望する	722 /	29.5%
2. 希望しない	1724 /	70.5%
計	2446	
97【設問96で1を選んだ方】どれくらいの期間留学したいですか。	件数	割合
1. 1年以上	179 /	24.1%
2. 6ヵ月以上1年未満	183 /	24.6%
3. 1ヶ月以上6ヵ月未満	224 /	30.1%
4. 1ヶ月未満	157 /	21.1%
計	743 /	
98【設問96で1を選んだ方】留学の目的は何ですか。 (複数回答可)	件数	割合
1. 単位修得のため	52 /	6.4%
2. 外国の専門知識・文化を理解するため	646 /	79.7%
3. その他	113 /	13.9%
計	811	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

99 【問96で1を選んだ方】どのような支援を希望しますか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. ガイダンス	300 /	24.6%
2. 奨学金	543 /	44.5%
3. 健康管理(健康診断書、予防接種、感染症指導等)	325 /	26.6%
4. その他	53 /	4.3%
計	1221	

G. 進路・就職について《学部生・院生共通》

100 【全員】進路を考える上での情報入手先はどこですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 指導教員	1119 /	14.5%
2. 就職担当教員	426 /	5.5%
3. 先輩・知人	1639 /	21.2%
4. 直接就職希望先に照会	313 /	4.0%
5. 就職情報誌・マスコミ	710 /	9.2%
6. 家族等	629 /	8.1%
7. 大学内資料	665 /	8.6%
8. インターネット	1734 /	22.4%
9. 就職支援室・キャリアセンター	385 /	5.0%
10. その他	118 /	1.5%
計	7738	

101 【全員】大学院に進学希望ですか。就職希望ですか。

	件数	割合
1. 進学	619 /	25.3%
2. 就職	1334 /	54.5%
3. まだわからない	493 /	20.2%
計	2446	

102 【全員】大学院に進学するとして、進学先の選択で重視することは何ですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 研究室の研究内容・教育方針	1965 /	33.9%
2. 研究室を主宰する教授の人柄・知名度	937 /	16.2%
3. 大学院の教育方針・カリキュラム	669 /	11.5%
4. 大学の知名度	426 /	7.4%
5. 過去の就職先・就職率	775 /	13.4%
6. 学部生として過ごした大学	304 /	5.2%
7. 友達がたくさんいる	155 /	2.7%
8. 家族や先輩の勧め	128 /	2.2%
9. 立地	338 /	5.8%
10. その他	98 /	1.7%
計	5795	

103 【全員】将来の就職先選択で重視することは何ですか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 仕事内容(やりがい)	1927 /	19.5%
2. 能力が発揮できる	1059 /	10.7%
3. 勤務地の地理的条件	938 /	9.5%
4. 将来性・安定性	1473 /	14.9%
5. 給料	1548 /	15.7%
6. 労働日数・勤務時間	1385 /	14.0%
7. 昇進など評価基準が明確	388 /	3.9%
8. 福利厚生施設が充実	1073 /	10.9%
9. その他	68 /	0.7%
計	9859	

2018年度学生生活実態調査 質問項目・集計結果

104【全員】将来の希望職種は決まっていますか。

〈複数回答可〉

	件数	割合
1. 技術職	803 /	24.1%
2. 事務職	209 /	6.3%
3. 企業等の研究	336 /	10.1%
4. 教育職	458 /	13.8%
5. 専門職(医師等)	441 /	13.2%
6. 大学・官公庁の教育研究職	171 /	5.1%
7. 6以外の公務員	345 /	10.4%
8. マスコミ関係	28 /	0.8%
9. 未定	406 /	12.2%
10. その他	133 /	4.0%
計	3330	

105【全員】大学が行う就職セミナーに参加しますか。

	件数	割合
1. 参加する	320 /	13.1%
2. 時間があれば参加する	1018 /	41.6%
3. 参加しない	553 /	22.6%
4. まだわからない	555 /	22.7%
計	2446	

2018年度学生生活実態調査報告書

2019年 6月

教学委員会

教育推進・学生支援機構 学生生活支援部門

委員長	杉森 弘幸	(教育学部)
委員	林 陵平	(教育学部)
	伊原 亮司	(地域科学部)
	川上ちひろ	(医学教育開発研究センター)
	佐野亜由美	(医学部看護学科)
	安藤 香織	(工学部)
	今村 彰宏	(応用生物科学部)
	堀田 亮	(保健管理センター)
	高口僚太郎	(教育推進・学生支援機構)
事務	阪野 秀和	(学務部)
	小澤 喜寿	(//)
	林 研志	(//)



絵 永沢 まこと